

SkyPDF Driver



ユーザーズガイド

Ver4.0

ご注意

本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアについては、いかなる場合においても、スカイコム社の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、写真複写、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、保存、または転送を行うことができません。

本マニュアルに付随する著作権を保護されたソフトウェアは、エンドユーザーにライセンスされますが、その使用は、エンドユーザーライセンス契約書に厳密に従うものとします。

本マニュアルは、予告なしに変更される場合があります、スカイコム社による責務として解釈されることがあってはなりません。スカイコム社は、本書における誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責任または補償を負うものではありません。

スカイコム社は、特定の目的に関する適合性、および本ソフトウェアの使用により第三者の権利を侵害しないことについて、いかなる保証もしません。

- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、および記載されたアドビシステムズ社の製品名は、米国アドビシステムズ社の登録商標または商標です。
- TrueType は、Apple Computer, Inc.の商標です。その他のブランドおよび商品名は、それらを所有する各社の商標または登録商標です。
- SkyPDF (SkyPDF Driver) は、スカイコム社が開発した製品です。
- 記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

はじめに	1
マニュアルの読みかた	2
必要なシステム環境	2
オンラインヘルプについて	2
SkyPDF Pro でできること	4
すばやく簡単に PDF ファイルを作成	4
フォントの埋め込み	5
SkyPDF Pro をインストールする	6
SkyPDF Pro をアンインストールする	11
SkyPDF Pro のセットアップ中にエラーが発生した場合	12
SkyPDF Pro 4.0 の設定	15
PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）	17
PDF ファイルを作成する（ドラッグ&ドロップ）	19
PDF ファイルを作成する（右クリック）	20
PDF ファイルを作成する（ツールボタン）	21
しおりとリンク注釈付きの PDF ファイルを作成する	23
SkyPDF Pro の初期設定を変更する	25
用紙の設定をする	27
用紙サイズを設定する	27
用紙の向きを設定する	28
余白を設定する	29
解像度を設定する	30
倍率を設定する	31
ファイル保存時の設定をする	32
ファイル名に日付を追加する	32

PDF ファイルの保存先を変更する	33
■保存時に保存先のフォルダを選択する	33
■自動的に保存されるフォルダを変更する	34
同名ファイルがあった場合の処理を指定する	35
PDF ファイル作成後に自動的にファイルを開く	36
空白のページを自動的に削除する	37
Web 表示用に最適化する	38
サムネイル画像を埋め込む	39
<hr/>	
テキストと画像の圧縮方法を設定する	41
圧縮の設定を初期設定に戻す	44
PDF ファイルをテキスト形式で出力する	45
<hr/>	
フォントを埋め込む	46
<hr/>	
すかしを追加する	48
<hr/>	
PDF/A-1b 形式で生成する	52
<hr/>	
文書情報を PDF に付与する	54
<hr/>	
URL やメールアドレスをハイパーリンクに変換する	55
<hr/>	
SkyPDF Pro の製品情報やユーザ情報を確認する	56
<hr/>	

はじめに

このたびは、SkyPDF Driver（以下SkyPDF Pro といいます）をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

SkyPDF Pro は、Microsoft® Word や Microsoft® Excel などのアプリケーションの印刷機能から簡単に PDF ファイルを作成できる PDF ドライバソフトウェアです。作成時に、用紙サイズや PDF ファイルの解像度などを設定することができます。

文書を PDF ファイルとして作成する大きな利点は、使用しているシステム環境（OS や文書を作成したアプリケーションの有無など）にかかわらず、同じレイアウトで文書を表示・印刷できることです。文書で使用しているフォントを埋め込んで PDF ファイルを作成しておけば、その PDF ファイルを表示する相手の環境に同一のフォントがなくても、作成した文書のレイアウトを損ねることなく、まったく同じレイアウトで文書を表示したり印刷することができます。これはデータ自体の信頼性を大きく高めることにつながります。

SkyPDF Pro を使用すれば、アプリケーションで文書を印刷するときと同様の手順で高速に PDF ファイルを作成できます。オフィスでの文書の蓄積や共有化、配信などに、より簡単に PDF ファイルをご利用いただけることでしょう。

なお、本文中の記述は、特に表記がない限り、Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® Vista および 7 での操作手順を記載しています。環境によって画面や操作手順が異なる場合があります。

■注意■

- ※ 印刷機能がないアプリケーションでは、PDF ファイルの作成はできません。
- ※ SkyPDF Pro で作成した PDF ファイルを表示するには、PDF1.6 に対応した PDF ビューア（SkyPDF Tools や SkyPDF Viewer、Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader 5.X 以上など）が必要です。

マニュアルの読みかた

このマニュアルでは、SkyPDF Pro のインストールから、SkyPDF Pro でできること、SkyPDF Pro で PDF ファイルを作成する方法、および PDF ファイル作成時に SkyPDF Pro で設定できるさまざまな機能の詳細について説明しています。まず「SkyPDF Pro でできること」、「SkyPDF Pro をインストールする」、「PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）」をお読みいただければ、SkyPDF Pro の機能の概要を確認し、SkyPDF Pro を使用して PDF ファイルを作成できます。あとは、必要に応じて「用紙の設定をする」以降の各機能の説明をお読みください。SkyPDF Pro の機能の詳細と設定方法を知ることができます。

必要なシステム環境

SkyPDF Pro をインストールするには、次のシステム環境が必要です。

OS	日本語／英語／中国語（簡体字・繁体字） Microsoft® Windows® XP Professional / HomeEdition SP3 以上 (x86) 日本語／英語／中国語（簡体字・繁体字） Microsoft® Windows® Vista Ultimate / Business/ Enterprise / HomePremium/ HomeBasic (x86) 日本語／英語／中国語（簡体字・繁体字） Microsoft® Windows® 7 Ultimate / Enterprise/ Professional / HomePremium (x86、x64)
CPU	Pentium4 1GHz 以上（利用する OS の推奨に基づく）
メモリ	512MB 以上（利用する OS の推奨容量以上）
ディスク空き容量	50MB 以上

また、SkyPDF Pro は、次のアプリケーションでの動作が確認されています。

- Microsoft Word 2003／2007／2010
- Microsoft Excel 2003／2007／2010
- Microsoft PowerPoint 2003／2007／2010
- Microsoft Internet Explorer 6.0／7.0／8.0
- Microsoft Visio 2003／2007／2010
- JUSTSYSTEM 一太郎 2008／2009／2010／2011

これらのアプリケーション以外でも、印刷機能があるアプリケーションから PDF ファイルを作成できます。ただし、文書の内容やアプリケーションの種類によっては、正常に PDF ファイルを生成できない場合があります。

オンラインヘルプについて

SkyPDF Pro では、画面上で PDF ファイル作成の操作をしながら、各画面の項目についての説明を確認していただけるように、オンラインヘルプを用意しています。SkyPDF Pro の[バージョン情報] タブに用意されている [オンラインマニュアル] ボタンをクリックすると、SkyPDF Pro のオンラインヘルプを表示することができます。

また、各画面の右上にある「？」ボタンをクリックし、目的の画面項目をクリックすると、その項目についての簡単な説明が表示されます。

SkyPDF Pro でできること

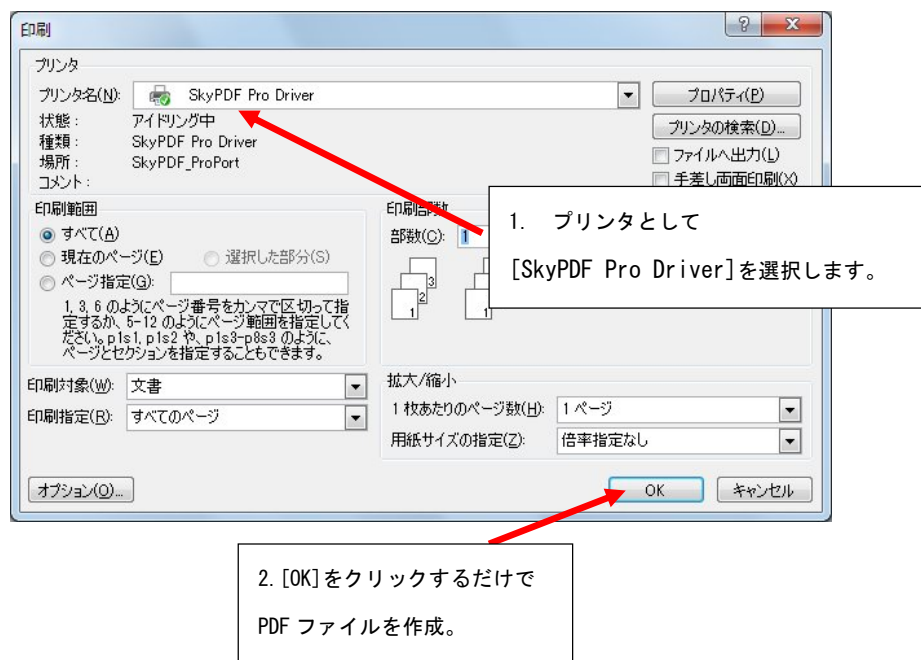
SkyPDF Pro は、Microsoft Word や Microsoft Excel、Microsoft® PowerPoint®などの主要ビジネスアプリケーションで作成したファイルを簡単・高速に PDF ファイルに変換できる PDF 作成ソフトです。

SkyPDF Pro を使用しての PDF ファイル作成は、非常に高速に行われます。仕事の効率化を妨げることなく、すみやかに次の作業に進むことができます。

また、元の文書で使用していたフォントを埋め込んで、PDF ファイルを表示する環境が異なっても作成したとおりの内容が見られるようにした PDF ファイルを作成することもできます。

すばやく簡単に PDF ファイルを作成

SkyPDF Pro を使用して、ファイルを印刷するときと同じ方法で簡単に PDF ファイルを作成できます。SkyPDF Pro では、PDF ファイル作成にかかる時間も大幅に短縮できます。

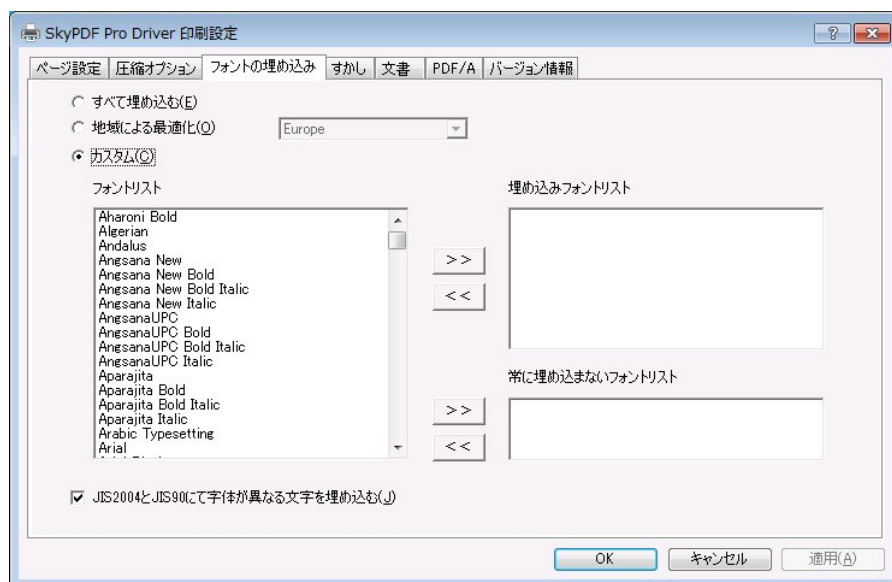


PDF ファイルの作成方法については、「PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）」を参照してください。

フォントの埋め込み

PDF ファイルを配布した相手の環境に文書内で使用されているフォントがなかった場合でも、文書のレイアウトを損ねることなく正しく文書が表示・印刷されるようにするために、フォントを PDF ファイルに埋め込むことができます。

文書内で使用しているフォントをすべて埋め込んだり、PDF ファイルを表示する相手の環境にない可能性のある特殊なフォントだけを選択して埋め込むこともできます。



SkyPDF Pro では、TrueType フォント、OpenType フォント、Type 1 フォントの埋め込みができます。欧文の 1 バイト TrueType フォントだけでなく、日本語などの 2 バイト TrueType フォントの埋め込みができます。

フォントの埋め込みの詳細については、「フォントを埋め込む」を参照してください。

SkyPDF Pro をインストールする

SkyPDF Pro をコンピュータにインストールします。

■注意■

※ SkyPDF Pro をインストールするとき、「インストールするには管理者権限が必要です」というメッセージが表示された場合は、Administrator 権限を持つアカウントとしてログインし直してからインストールしてください。

※ Microsoft Word, Excel および Power Point が起動している場合は、SkyPDF Pro をインストールすることができません。

※3.50 以前のバージョンをご利用の場合、必ずコントロールパネルよりアンインストールしてください。

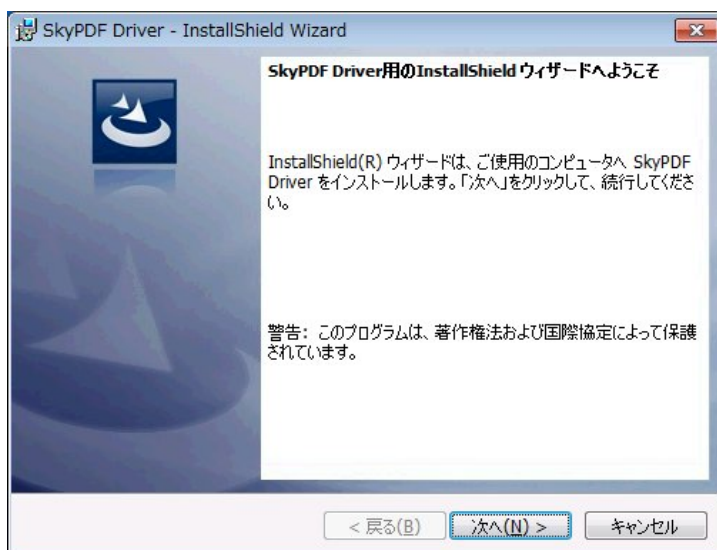
- 1 CD-ROM からインストールする場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、setup.exe をダブルクリックします。

ダウンロードする場合は、ファイルが圧縮されていたら解凍(展開)し、フォルダ内の setup.exe をダブルクリックします。

- 2 セットアップ言語の選択画面が表示されたら、使用する言語をリストから選択します。



ようこそ画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



- 3 使用許諾契約画面が表示されたら、内容をよく読んでから、[使用許諾契約の条項に同意します]をクリックし、[次へ] をクリックします。



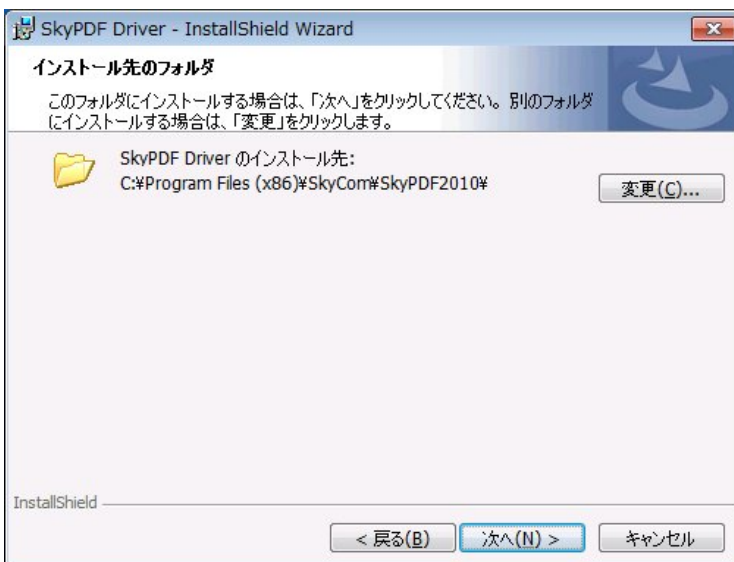
- 4 ユーザー情報画面が表示されたら、ユーザー名、会社名を入力し、[次へ] をクリックします。

- 5 【デフォルトフォルダの選択】 画面が表示されたら、SkyPDF Pro で作成したPDF ファイルを保存するフォルダを選択して「次へ」をクリックします。「任意の保存先」を選択した場合は、「参照」をクリックして目的のフォルダを選択してください。



【メモ】 SkyPDF Pro でPDF ファイルを作成するとき、保存先のフォルダを指定しない設定にしていると、ここで指定したフォルダにPDF ファイルが保存されます。保存先のフォルダはあとで変更もできます。「■自動的に保存されるフォルダを変更する」を参照してください。また、PDF ファイルを作成するたびに保存先のフォルダを指定する方法については、「■保存時に保存先のフォルダを選択する」を参照してください。

- 6 【インストール先のフォルダ】 画面が表示されたら、必要に応じて「変更」をクリックし、SkyPDF Pro をインストールするフォルダを選択して「次へ」をクリックします。



7

【設定確認】ダイアログボックスが表示されたら、設定内容を確認して【次へ】をクリックします。



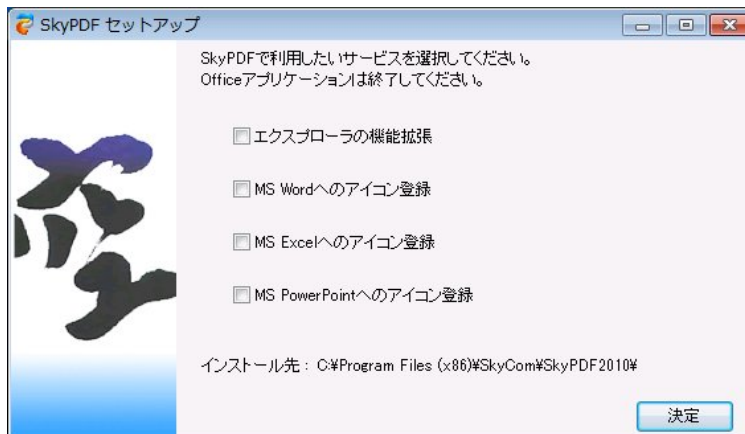
【プログラムをインストールする準備ができました】が表示されたら、【インストール】をクリックします。



SkyPDF Pro のインストールが始まります。

8 SkyPDF Pro で利用したいサービスを選択し、[決定] をクリックします。

ご利用にならない場合は、そのまま [決定] をクリックします。



【メモ】インストール後でも各サービスの設定変更ができます。

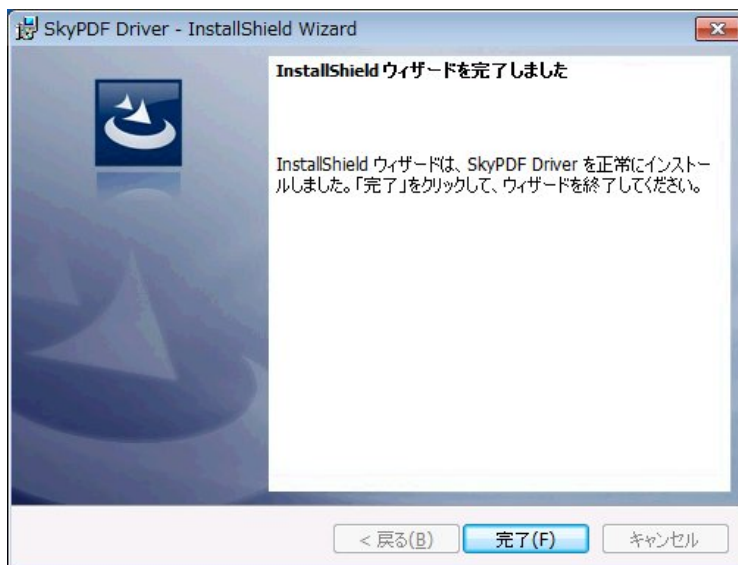
詳細については「SkyPDF Pro 4.0 の設定」を参照してください。

Microsoft Office がインストールされていない場合は、「エクスプローラの機能拡張」のみ設定が可能となります。また、MS Word/ Excel/ PowerPoint へのアイコン登録ボタンをクリックしても動作に影響はございません。

※Microsoft Office 2000 にはOffice 自体がエラーとなるため、アイコン登録ボタンを使用しないでください。

9

インストール完了画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



SkyPDF Pro をアンインストールする

インストールした SkyPDF Pro をコンピュータから削除します。

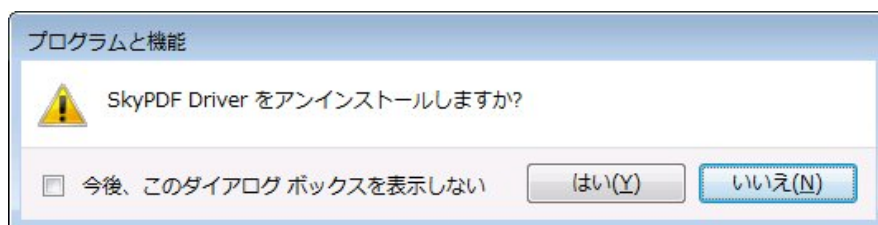
◆コントロールパネルからのアンインストール

- 1 Windows XP を使用している場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] を選択します。

Windows Vista もしくは Windows 7 を使用している場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プログラム] カテゴリの [プログラムのアンインストール] を選択します。

- 2 プログラムの一覧が表示されたら、[SkyPDF Pro] を選択し、[変更と削除] または [削除] または [アンインストール] をクリックします。

削除確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

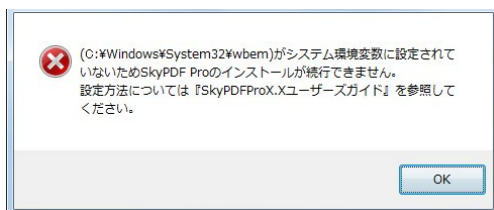


SkyPDF Pro のアンインストールが始まります。

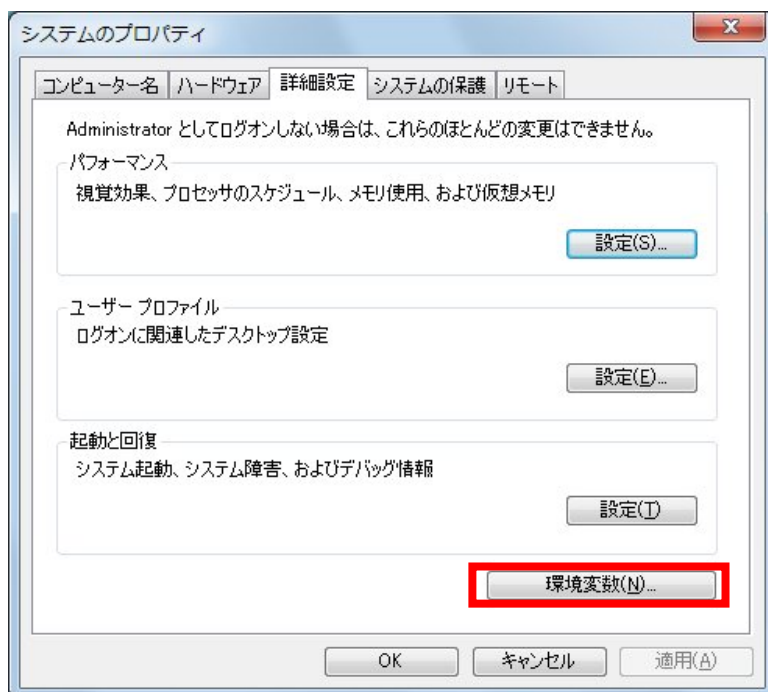
- 3 自動的にアンインストールが完了します。

SkyPDF Pro のセットアップ中にエラーが発生した場合

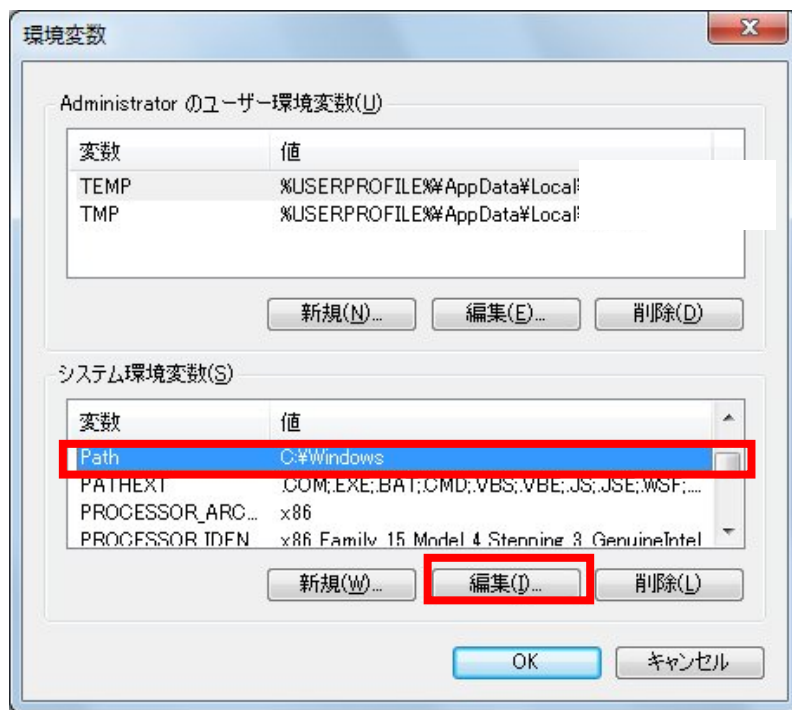
セットアップ中に、下記メッセージが表示されインストールに失敗した場合は、次の手順で作業を行います。



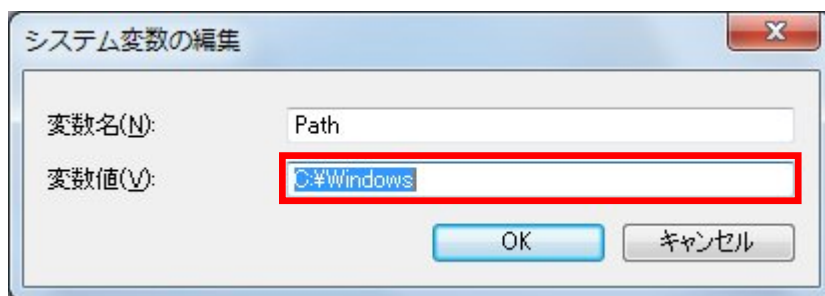
- 1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [システム] より [詳細設定] タブを選択し、[環境変数] ボタンを押下します。



- 2 [環境変数] - [システム環境変数] ウィンドウをスクロールし、変数列に表示されている [path] を選択し、[編集] ボタンを押下します。



[システム環境変数] の [変数値] フィールドへ SkyPDF Pro セットアップに失敗時に表示されたメッセージに記載されている、設定されていない文字列を末尾に入力します。

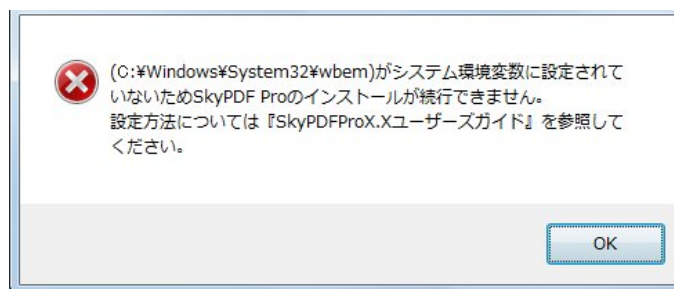


[システム環境変数] の [変数値] フィールドの末尾を探します。

※キーボードの [Home] を押下すると欄内先頭へ、また [End] を押下すると欄内末尾へ移動することができます。

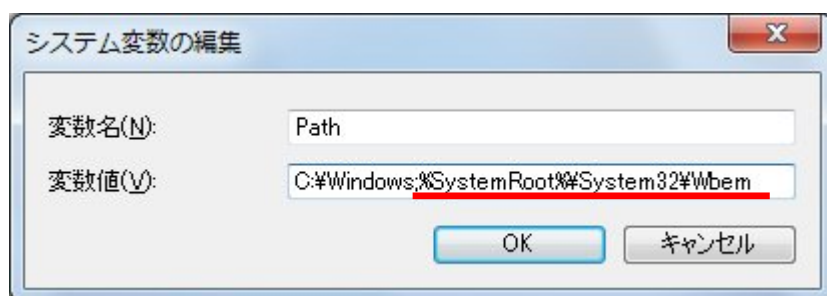
[;] (セミコロン) に続けて文字列を末尾に追記し [OK] を押下します。

(例)



この場合、C:\\Windows を%SystemRoot%と定義し、

[;] (セミicolon)に続けて%SystemRoot%\\System32\\Wbm を下図のように入力します。



[OK] を押下します。

PC を再起動し、再度インストールを実行してください。

！注意！

必ず再起動してからインストール作業を行ってください。

SkyPDF Pro 4.0 の設定

[SkyPDF Pro セットアップ] 画面を表示させます。

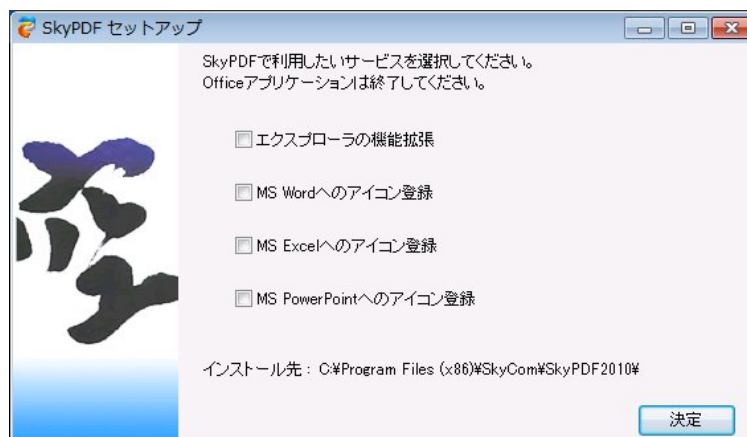
- 1 [スタート] メニューから [すべてのプログラム] - [SkyCom] - [SkyPDF] を選択し、[SkyPDF Driver] を選択します。

- 2 [SkyPDF Pro セットアップ] が表示されます。

■注意■

※ 設定を変更するときは、Administrator 権限を持つアカウントとしてログインし直してからインストールしてください。

全ての Office アプリケーションを終了してから、使用する機能を選択し、[決定]をクリックします。



- ・エクスプローラの機能拡張

右クリックメニューに [SkyPDF で変換] コマンドを追加します。この設定によって、右クリックメニューから PDF ファイルを生成することができるようになります。

- ・MS Word/ Excel/ PowerPoint へのアイコン登録

Word、Excel または PowerPoint に、PDF 生成するためのツールボタンを組み込みます。

この設定によって、ワンボタンで PDF ファイルを生成することができるようになります。

【メモ】

[印刷設定] をクリックすると [SkyPDF Pro Driver 印刷設定] 画面が表示されます。この画面操作の詳細については「SkyPDF Pro の初期設定を変更する」を参照してください。

■注意■

※ Microsoft Office がインストールされていない場合は、「エクスプローラの拡張機能」のみ設定が可能となります。MS Word/Excel/PowerPoint へのアイコン登録ボタンをクリックしても動作には影響ございません。

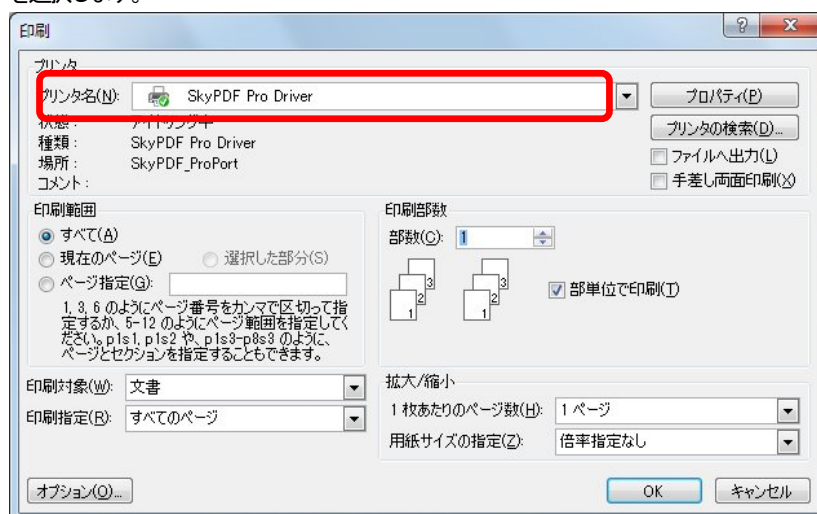
※Microsoft Office 2000 には Office 自体がエラーとなるため、アイコン登録ボタンを使用しないでください。

PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）

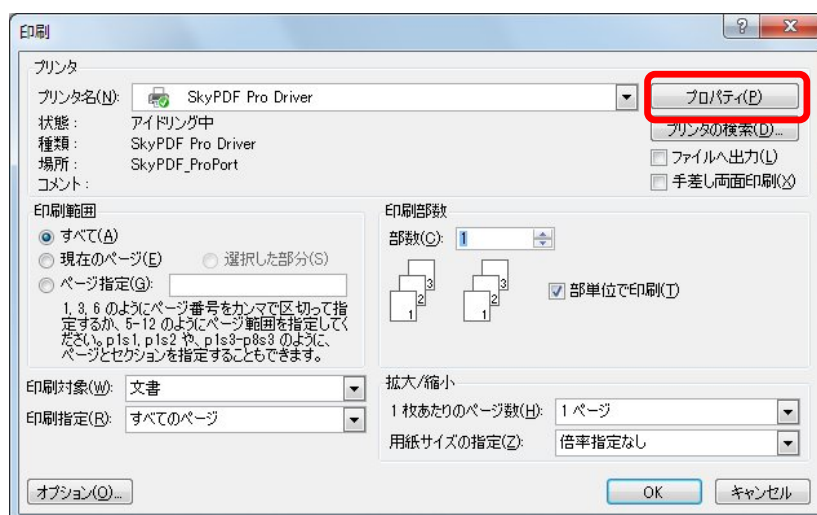
SkyPDF Pro を使用して、アプリケーションから文書を印刷するときと同様の方法で、元の文書の PDF ファイルを作成することができます。

ここでは、Microsoft Word で PDF ファイルを作成する方法を例にして説明します。画面の項目名などは、元の文書を作成したアプリケーションによって異なる場合があります。

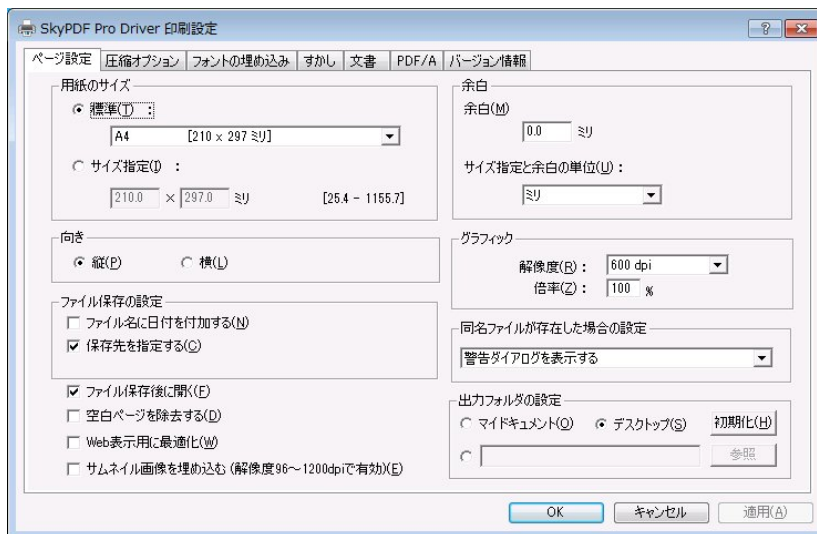
- 1 アプリケーションで元になる文書を開き、[ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
- 2 印刷のダイアログボックスが表示されたら、[プリンタ名] ボックスで [SkyPDF Pro Driver] を選択します。



- 3 用紙やフォント埋め込みなどの設定を変更したい場合は、[プロパティ] をクリックし、SkyPDF Pro Driver のプロパティを表示します。



「SkyPDF Pro Driver のプロパティ」ダイアログボックスにある各タブで、作成する PDF ファイルに対してさまざまな設定をすることができます。



SkyPDF Pro のプロパティで設定できる機能の詳細については、「用紙の設定をする」以降の各機能の説明を参照してください。

- 4** PDF ファイルの設定が終了したら、[SkyPDF Pro Driver のプロパティ] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

■注意■※アプリケーションの印刷機能から設定した SkyPDF Pro Driver のプロパティの設定内容は、いったんアプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。SkyPDF Pro Driver のプロパティの初期設定を変更することもできます。「SkyPDF Pro の初期設定を変更する」を参照してください。

- 5** 印刷のダイアログボックスに戻ったら、[OK] をクリックします。

- 6** [PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して [保存] をクリックします。

【メモ】[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスで [ファイル保存後に開く] をクリックすると、PDF ファイルが作成された後自動的にそのファイルが開きます。SkyPDF Pro で保存先を指定しない設定にしている場合は、[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスは表示されず、インストール時やプロパティで指定したフォルダに PDF ファイルが自動的に保存されます。保存先指定の詳細については、「PDF ファイルの保存先を変更する」を参照してください。

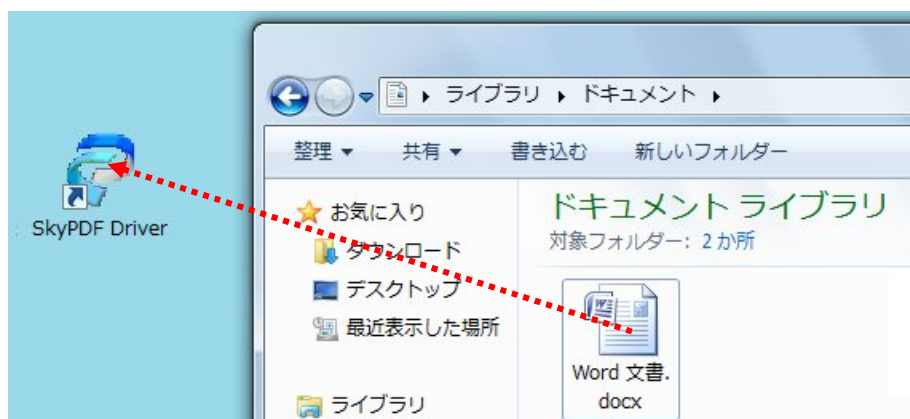
■注意■

※ SkyPDF Pro で作成される PDF ファイルは、PDF1.6 に準拠しています。作成した PDF ファイルを開くには、PDF1.6 に対応した PDF ビューア (SkyPDF Viewer または SkyPDF Tools、Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader 5.X 以上など) が必要です。

PDF ファイルを作成する（ドラッグ&ドロップ）

デスクトップ上の「SkyPDF Pro Driver」ショートカットアイコンを利用して PDF ファイルを作成することができます。

- 1 PDF ファイルを生成したい対象元ファイルをデスクトップ上の「SkyPDF Driver」アイコンにドラッグ&ドロップします。



【ドラッグ&ドロップ】＝マウスで選択ボタンを押しながらファイルアイコンを移動

※自動的に、拡張子に関連付けられたアプリケーションが起動され PDF ファイルの生成が実行されます。

- 2 PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して[保存]をクリックします。

【メモ】

[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスで [ファイル保存後に開く] をクリックすると、PDF ファイルが作成された後、自動的にそのファイルが開きます。
SkyPDF Pro で保存先を指定しない設定にしている場合は、[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスは表示されず、インストール時やプロパティで指定したフォルダに PDF ファイルが自動的に保存されます。保存先指定の詳細については、「PDF ファイルの保存先を変更する」を参照してください。

■注意■

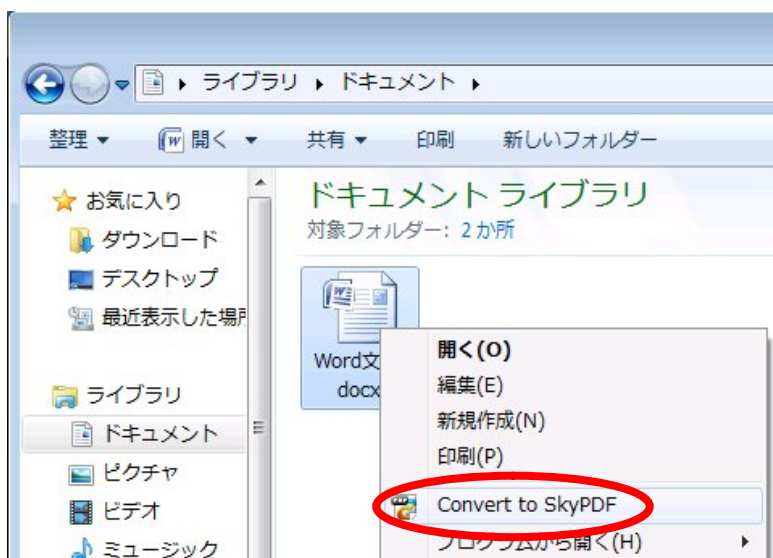
※ アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF ファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、「PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）」で、PDF ファイルを生成してください。

PDF ファイルを作成する（右クリック）

ファイルを右クリックして表示されるメニューから PDF を生成することができます。

※別設定が必要です。詳細については「SkyPDF Pro 4.0 の設定」を参照してください。

- 1 PDF ファイル生成したい対象元ファイルを右クリックし、コンテキストメニューに表示される、「Convert to SkyPDF」コマンドを選択します。



※自動的に、拡張子に関連付けられたアプリケーションが起動され PDF ファイルの生成が実行されます。

- 2 PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して[保存]をクリックします。

【メモ】

[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスで [ファイル保存後に開く] をクリックすると、PDF ファイルが作成された後、自動的にそのファイルが開きます。
SkyPDF Pro で保存先を指定しない設定にしている場合は、[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスは表示されず、インストール時やプロパティで指定したフォルダに PDF ファイルが自動的に保存されます。保存先指定の詳細については、「PDF ファイルの保存先を変更する」を参照してください。

■注意■

アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF ファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、「PDF ファイルを作成する（印刷 コマンド）」で、PDF ファイルを生成してください。

PDF ファイルを作成する（ツールボタン）

Microsoft Word, Excel および PowerPoint に、PDF ファイルを生成するためのツールボタンが組み込まれます。これらのボタンをクリックして、PDF を生成することができます。

※別途設定が必要です。詳細については「SkyPDF Pro 4.0 の設定」を参照してください。

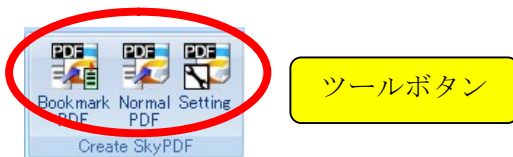
Office2007/2010 の場合

- 1 office インストール時にカスタムインストールを選択した場合、Office 共有機能の中の、Visual Basic for Applications がインストールされている必要があります。

[メニュー]-[Word/Excel/PowerPoint（各々の）のオプション]->[開発タブをリボンに表示]にチェックし OK を押下します。

- 2 [開発] タブがリボンに表示されたら、そのアプリケーションを再起動します。

1 つの Office アプリケーションで設定すれば以降どの Office アプリケーションでも [SkyPDF] タブが表示されるようになります。

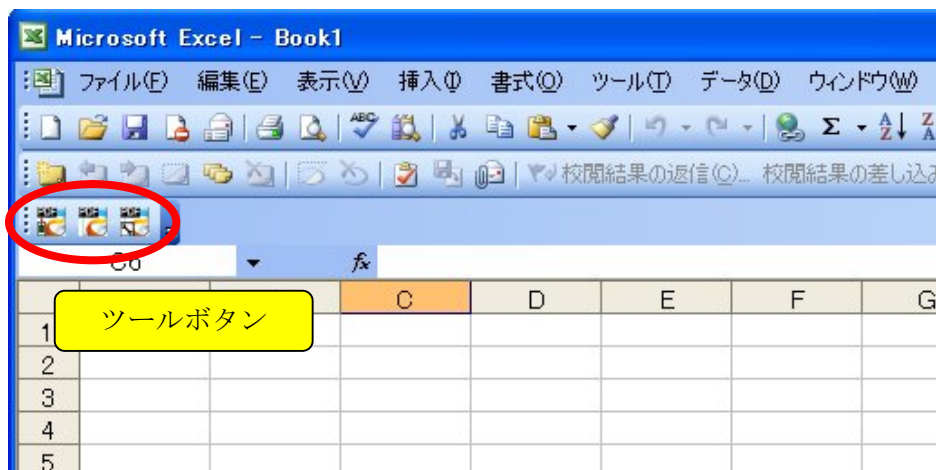


以下 Office 2003 の場合と同様に [アドイン] タブに表示されたツールボタンを操作します。

Setting ボタンは SkyPDF Pro の印刷設定画面を表示させます。

Office 2003 の場合

- 1 ツールバーにあるツールボタン（中央の NormalPDF ボタン）をクリックします。



自動的に、PDF ファイルの生成が実行されます。

【メモ】SkyPDF Pro セットアップの「SkyPDF Pro で利用したいサービス」で選択した office アプリケーションには上記のツールボタンが表示されます。（設定詳細については「SkyPDF Pro 4.0 の設定」を参照して下さい。）

2

PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して [保存] をクリックします。

【メモ】 [PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスで [ファイル保存後に開く] をクリックすると、PDF ファイルが作成された後、自動的にそのファイルが開きます。

SkyPDF Pro で保存先を指定しない設定にしている場合は、[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスは表示されず、インストール時やプロパティで指定したフォルダに PDF ファイルが自動的に保存されます。保存先指定の詳細については、「PDF ファイルの保存先を変更する」を参照してください。

■注意■

※ アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF ファイルの生成ができない場合があります。そのような場合には、「PDF ファイルを作成する（[印刷] コマンド）」で、PDF ファイル生成してください。

※ Excel では選択された 1 シートのみの対応となります。

しおりとリンク注釈付きのPDFファイルを作成する

Microsoft Office(Word,Excel,PowerPoint) にしおり付きPDFファイルを作成する為のツールボタンが組み込まれます。このボタンをクリックするだけで、しおりとリンク注釈付きのPDFファイルを作成することができます。

「しおり」とはPDF Viewer でPDFを開いた時、左側に表示される目次の形のもので、PDF文書内の特定の箇所へのリンクになっており、そこをクリックすることで、PDF文書内の特定の箇所にジャンプすることができます。

「リンク注釈」とはPDF Viewer でPDFを開いた時、Officeで設定していた文書内のハイパーリンクが、PDF文書内でも同様の箇所へのリンクできるようになる機能です。

■注意■ ・リンク注釈はExcelでは動作しません。

・PowerPointは読み取り専用の文書では動作しません。

・PowerPoint上の変更履歴付きの文書は動作保証外とさせていただきます。

※Word上の書式で“見出し1”などの見出しを検知し、しおりとして設定します。

(“見出し”という文言が含まった書式のみで見出し1～9まで対応)

Excelは“シート名”を検知し、しおりとして設定します。

(選択された1シート目のみの対応)

PowerPointは“スライドのタイトル”を検知し、しおりとして設定します。

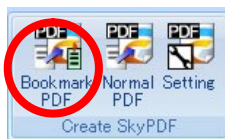
(タイトルが無い場合スライド番号が“スライド番号 1”という形式で検知されます)

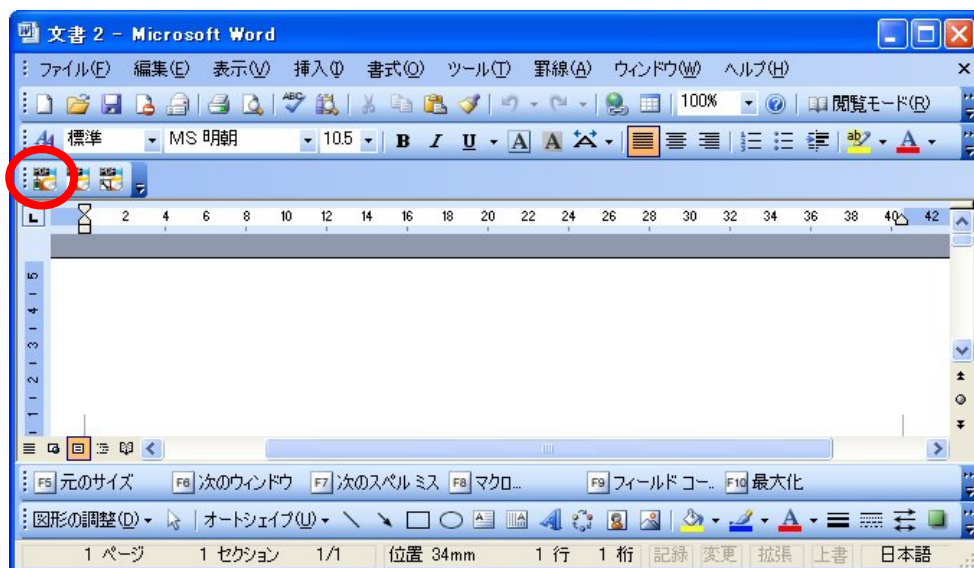
また、WordとPowerPointのみ、しおり付PDF作成ボタンを押下した場合、ハイパーリンク情報を検知し、リンク注釈を付与します。

1 Microsoft Officeのツールバー上にある左端の「BookmarkPDF」というボタンをクリックします。

*ボタンが無い場合は、別途設定が必要です。詳細については「SkyPDF Pro 4.0の設定」を参照して下さい。

・Office2007/2010の場合





※ 自動的にPDF ファイルの生成が実行されます。

2

【PDF ファイルに名前をつけて保存】ダイアログボックスが表示された場合は、PDF ファイルを保存するフォルダを指定し、必要に応じてファイル名を編集して [保存] をクリックします。

【メモ】 PDF ファイルに名前をつけて保存】ダイアログボックスで [ファイル保存後に開く] をクリックすると、PDF ファイルが作成された後、自動的にそのファイルが開きます。

SkyPDF Pro で保存先を指定しない設定にしている場合は、[PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスは表示されず、インストール時やプロパティで指定したフォルダに PDF ファイルが自動的に保存されます。保存先指定の詳細については、「PDF ファイルの保存先を変更する」を参照してください。

※1ページ内（ページを跨らない）の複数行の URL リンクを付与したい場合は、当該の「しおり付き PDF 作成」ボタンを押下した時のみ対応可能です。

SkyPDF Pro の初期設定を変更する

SkyPDF Pro をインストールした後、SkyPDF Pro Driver のプロパティを何も変更せずに PDF ファイルを作成した場合は、次のような設定で PDF ファイルが出力されます。

機能	初期設定
用紙サイズ	A4
余白	0
用紙の向き	縦
解像度	600dpi
倍率	100%
PDF ファイル作成後に自動的に開く	ON
PDF ファイル作成時に保存先のフォルダを選択	ON
PDF ファイル名に日付を付加する	OFF
空白ページを除去する	OFF
Web 表示用に最適化	OFF
同名ファイルがあった場合の処理	警告メッセージを表示
テキストとラインアートの圧縮	Zip 形式で圧縮
出力形式	バイナリ形式
画像のダウンサンプリング	カラー／グレースケール画像、白黒画像をバイキュービック (IPP) で 150dpi までダウンサンプリング
カラーグレースケール画像の圧縮	JPEG (中) 形式で圧縮
白黒画像の圧縮	CCITT グループ 4 で圧縮
フォントの埋め込み	カスタム
すかし	埋め込まない
文書情報	空白
URL／メールアドレスをハイパーリンクに変換	変換する
PDF/A	設定しない

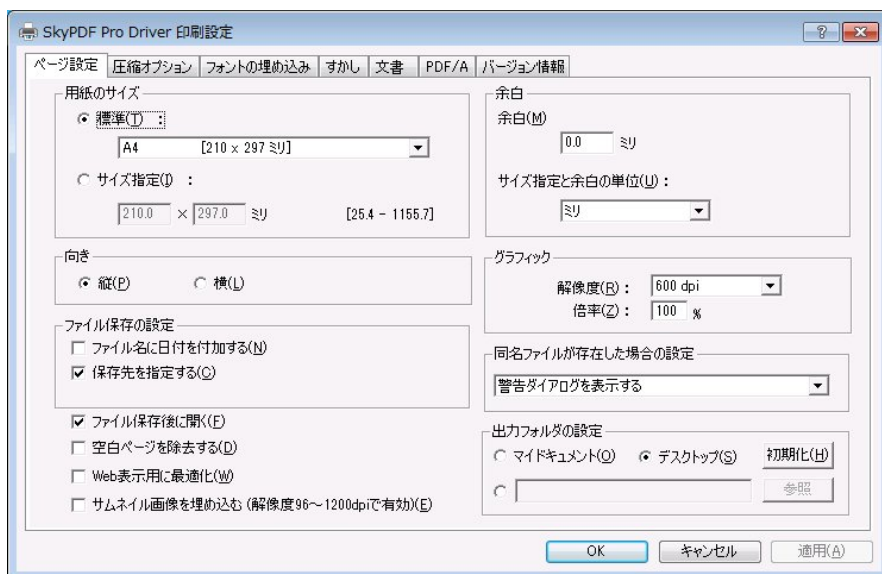
この初期設定を変更しておけば、アプリケーションから PDF ファイルを作成するたびに SkyPDF Pro Driver のプロパティを変更することなく、常に独自の設定で PDF ファイルを作成することができます。

- 1 Windows XP を使用している場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] - [プリンタと FAX] を選択します。

Windows Vista、7 を使用している場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] - [プリンタ] (Windows7 ではデバイスとプリンターの表示) を選択します。(Vista、7 は設定によりコントロール パネルの表示方法が異なりますので、各 PC の設定に応じてください。)

- 2 プリンタの一覧が表示されたら、[SkyPDF Pro Driver] を右クリックし、[印刷設定] を選択します。

必要に応じて、各タブで設定を変更し、[OK] をクリックします。



SkyPDF Pro Driver のプロパティで設定できる機能の詳細については、「用紙の設定をする」以降の各機能の説明を参照してください。

■注意■

※ ここで設定した SkyPDF Pro Driver のプロパティの初期設定は、Windows のユーザアカウントごとに保存されます。

用紙の設定をする

作成する PDF ファイルの用紙サイズや用紙の向き、および余白を設定します。

用紙サイズを設定する

作成する PDF ファイルの用紙サイズを設定します。

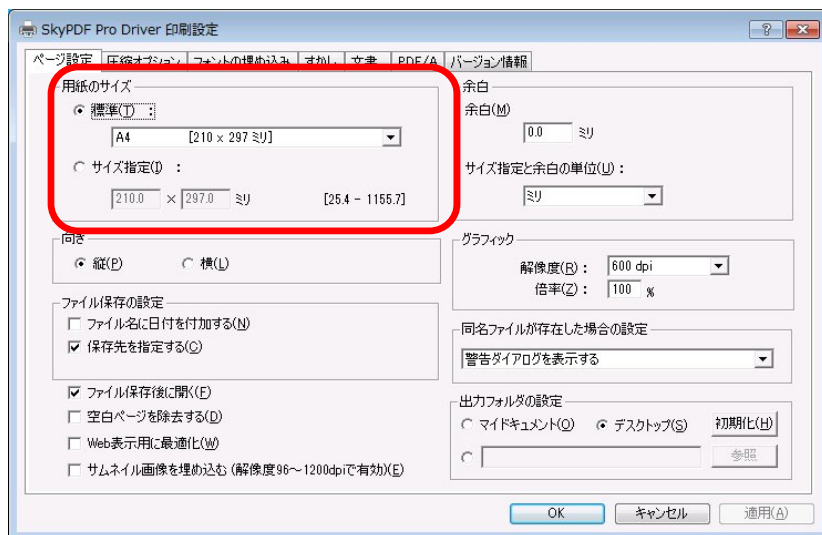
■注意■

※ アプリケーションの「ページ設定」で指定した用紙サイズが、ここで設定した用紙サイズよりも優先されます。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 レターサイズや A4 サイズなど、定型の用紙サイズにする場合は [標準] をクリックし、右側のボックスで用紙サイズを選択します。

特別なサイズを指定する場合は、[サイズ指定] をクリックし、[サイズ指定と余白の単位] で単位 (インチ/ポイント/ミリ) を選択してから、用紙の横の長さ×縦の長さを入力します。

指定できる最小サイズは 1×1 インチ (25.4 ミリ/72 ポイント)、最大サイズは 45.5×45.5 インチ (1155.7 ミリ/3276 ポイント) です (1 インチ=25.4 ミリ=72.0 ポイントで換算)。



用紙の向きを設定する

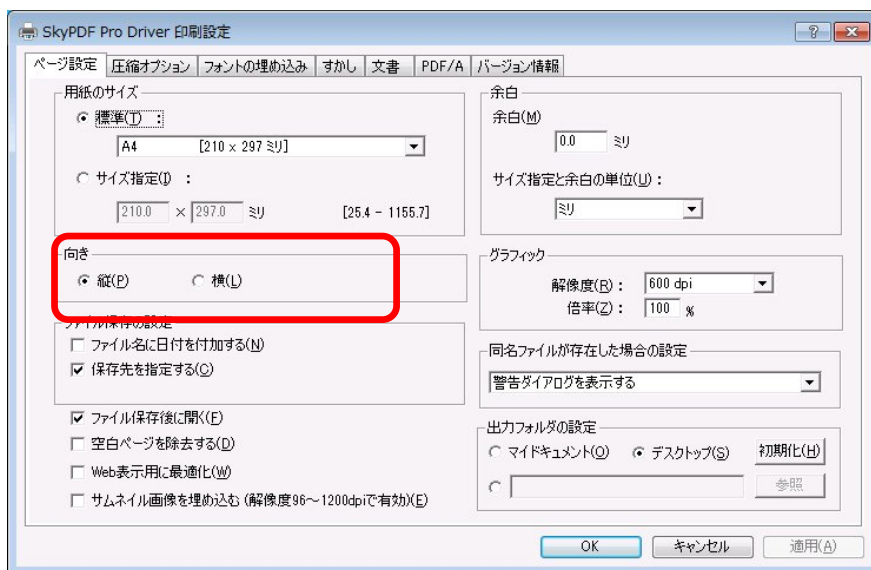
作成する PDF ファイルの用紙の向きを設定します。

■注意■

※ アプリケーションの「ページ設定」で指定した用紙の向きが、ここで設定した用紙の向きよりも優先されます。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。

2 [向き] の [縦] または [横] をクリックします。



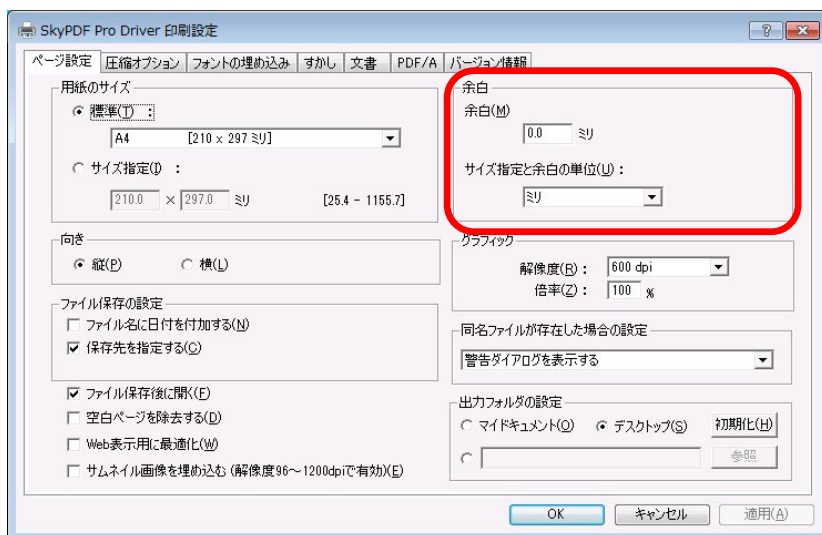
余白を設定する

作成する PDF ファイルの用紙の余白を設定します。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。

2 [余白] に余白の数値を入力します。

ここで設定した余白は、用紙の上からと左からの余白になります。



【メモ】 余白の単位は、[サイズ指定と余白の単位] で変更できます。単位を変更すると、選択した単位に合わせてサイズ指定や余白に入力されている数値も自動的に変わります。

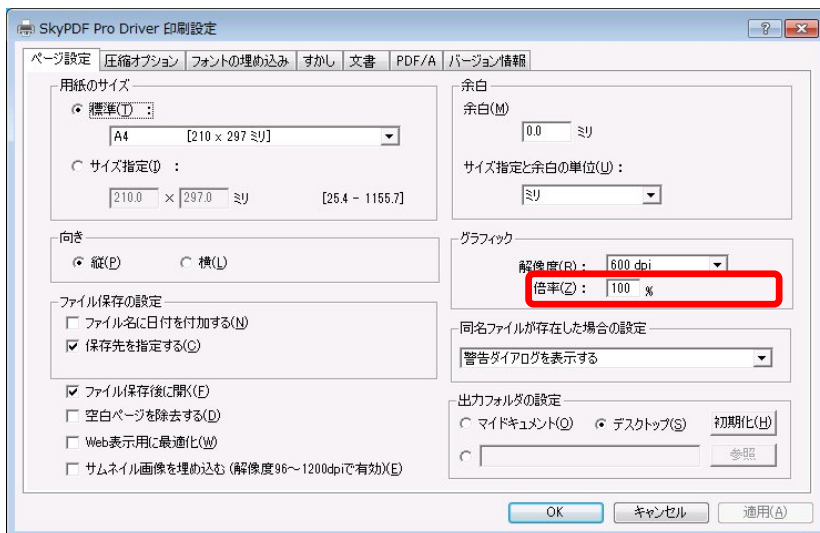
■注意■

ここで指定した余白は、アプリケーションの「ページ設定」で設定されている上の余白および左の余白のさらに内側に設定されます。つまり、ここで余白を指定して PDF ファイルを作成すると、元の文書での余白設定よりも全体が右下に移動し、はみ出した部分は消去されたり、別のページとして出力されます。

解像度を設定する

作成する PDF ファイルの解像度を設定します。通常、解像度が高いほど文書のレイアウトは正確になりますが、ファイルサイズが大きくなります。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 [グラフィック] の [解像度] で PDF ファイルの解像度を選択します。



[スクリーン] は 72dpi です。PDF ファイルをモニターで表示するだけであれば、[スクリーン] または [96dpi] でも問題ありません。

ただし、150dpi 以下の解像度を指定した場合、アプリケーションで表示されているページ内容と、作成された PDF ファイルの内容が異なってしまうことがあります（文字間隔の変化など）。たとえば、Microsoft Excel で 150dpi 以下の解像度を指定すると、1 ページ内に含まれる行や全体のページ数が増減することがあります。

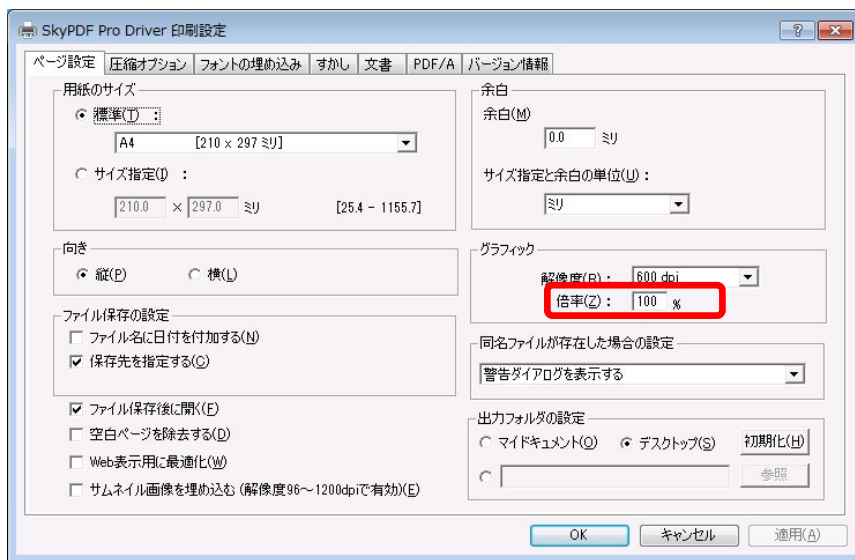
■注意■

※ 元の文書のレイアウトを損ねることなく PDF ファイルを出力したい場合や、高品質での印刷が必要な場合は、300dpi 以上の解像度を指定してください。

倍率を設定する

作成する PDF ファイルの倍率を設定します。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 [グラフィック] の [倍率] で PDF ファイルの倍率を指定します。



ここで設定する倍率は、元の文書の内容に対する倍率になります。PDF ファイルは、表示・印刷時に倍率を指定できるので、通常は「100%」（原寸）で変更する必要はありません。

なお、倍率の設定は、用紙サイズには影響しません。たとえば、A4 サイズの文書で、倍率に「50%」を指定して PDF ファイルを作成すると、A4 サイズの用紙で、元の文書の内容が 50%（つまり A5 サイズ）に縮小されて収められます。「200%」を指定すると、A4 サイズの用紙に、元の文書の内容が倍に拡大されて収められ、はみ出した部分は消去されたり、別のページとして出力されます。

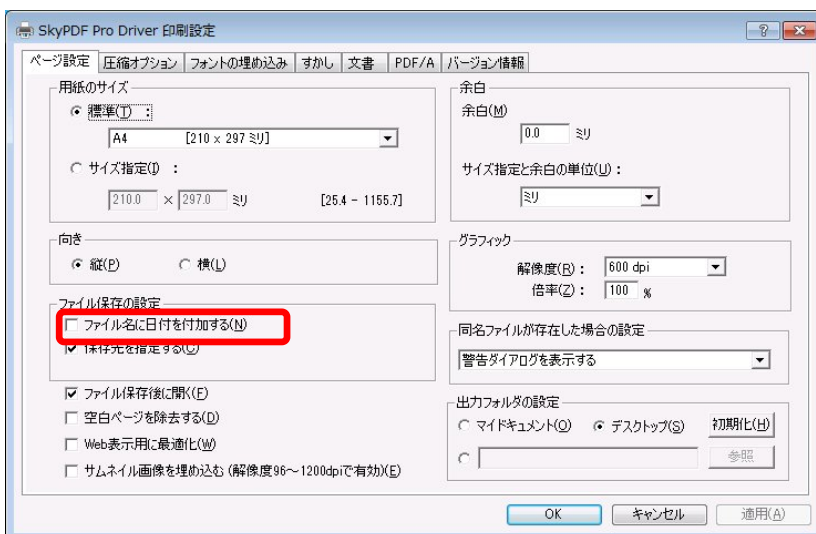
ファイル保存時の設定をする

PDF ファイルのファイル名や保存先などに関する設定をします。同名ファイルがあった場合の処理や空白ページの削除などを設定することもできます。

ファイル名に日付を追加する

作成した PDF ファイルのファイル名には、通常、元の文書のファイル名がそのまま付けられます。PDF ファイルのファイル名に、PDF ファイルを作成した年月日や時刻を自動的に追加することができます。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 [ファイル名に日付を付加する] をチェックします。



[ファイル名に日付を付加する] をチェックすると、作成される PDF ファイルのファイル名には、元の文書のファイル名の後に、PDF ファイル作成時の年月日と時刻が自動的に追加されます。たとえば、ABC.doc という文書を元に 2005 年 2 月 11 日 15 時 31 分 8 秒に PDF ファイルを作成した場合、PDF ファイルのファイル名は「ABC20050211153108.pdf」になります。

PDF ファイルの保存先を変更する

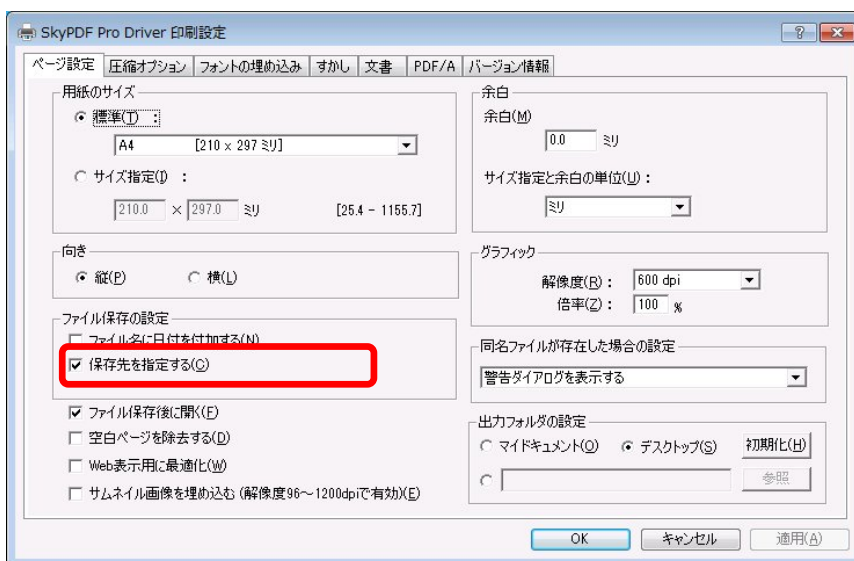
PDF ファイルを作成するたびに保存先のフォルダを選択するように設定したり、PDF ファイルが自動的に保存されるフォルダを変更することができます。

■保存時に保存先のフォルダを選択する

PDF ファイルを作成するたびに、ファイルの保存先とファイル名を確認・変更できるように設定します。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。

2 [保存先を指定する] チェックボックスをチェックします。



[保存先を指定する] をチェックすると、PDF ファイル作成後に [PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示され、保存先のフォルダと PDF ファイルのファイル名を指定できます。

[保存先を指定する] をチェックしなかった場合は、PDF ファイルはインストール時または [出力フォルダの設定] グループボックスで指定した PDF ファイルの保存先のフォルダに、元の文書のファイル名 (拡張子の前の部分) と同じファイル名で保存されます。保存先のフォルダを変更する方法については、「■自動的に保存されるフォルダを変更する」を参照してください。

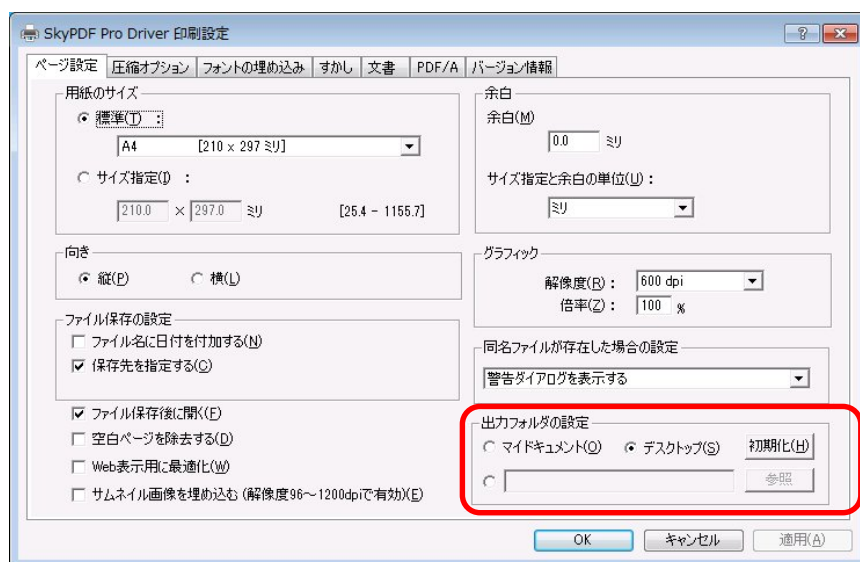
保存先のフォルダに同じ名前の PDF ファイルがすでにあった場合の処理も指定できます。「同名ファイルがあった場合の処理を指定する」を参照してください。

■自動的に保存されるフォルダを変更する

PDF ファイルを作成するたびに保存先のフォルダを選択するように設定していない場合に、PDF ファイルが保存されるフォルダを変更することができます。

【メモ】PDF ファイルを作成するたびに保存先のフォルダを選択するように設定する方法については、「■保存時に保存先のフォルダを選択する」を参照してください。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 [出力フォルダの設定] グループボックスで、[マイドキュメント] または [デスクトップ] を選択します。
インストール時に設定したフォルダを使用する場合は、[初期化] をクリックします。
保存先のフォルダを新しく指定する場合は、[マイドキュメント] の下にあるボタンを選択し、目的のフォルダまでのパスを直接入力するか、[参照] をクリックしてフォルダを選択します。



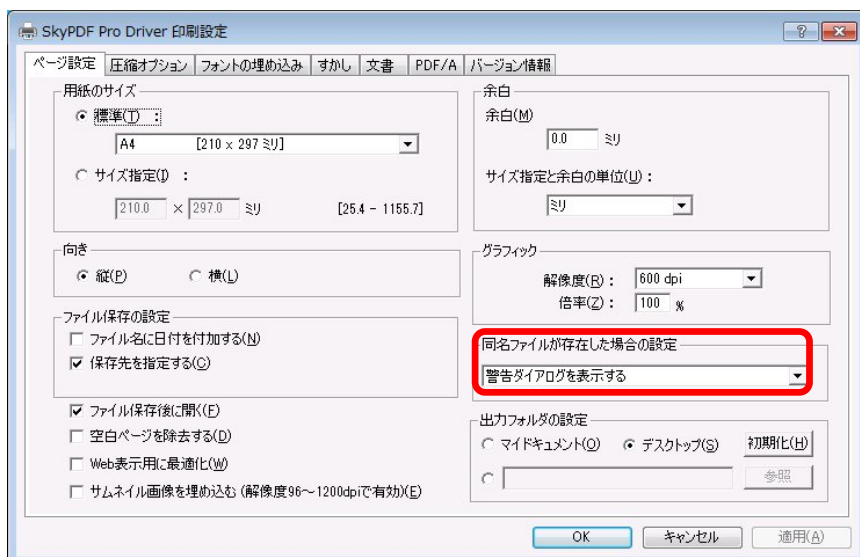
[出力フォルダの設定] グループボックスの設定を特に変更していない場合は、インストール時に設定したフォルダが保存先になります。

同名ファイルがあった場合の処理を指定する

PDF ファイルを保存するフォルダにすでに同名のファイルがあった場合の処理を設定します。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。

2 [同名ファイルが存在した場合の設定] で処理方法を選択します。



選択項目	説明
[警告ダイアログを表示する]	同名の既存のファイルに上書きするかどうかを確認するメッセージを表示します。
[上書き]	自動的に既存ファイルに上書きします。
[ファイル名に連番を付けて保存する]	ファイル名の後に、自動的に1、2・・・の連番を付けて保存します。たとえば、ABC.doc という文書をファイル名を変更せずに3回PDFファイルとして作成すると、作成されるPDFファイルは、ABC.pdf、ABC1.pdf、ABC2.pdfになります。
[既存ファイルの後に追加する]	作成するPDFファイルの内容を、既存ファイルの内容の後に追加して1つのファイルにします。 ※既にセキュリティ設定されたPDFファイルの後には追加しないでください。

■ 注意■

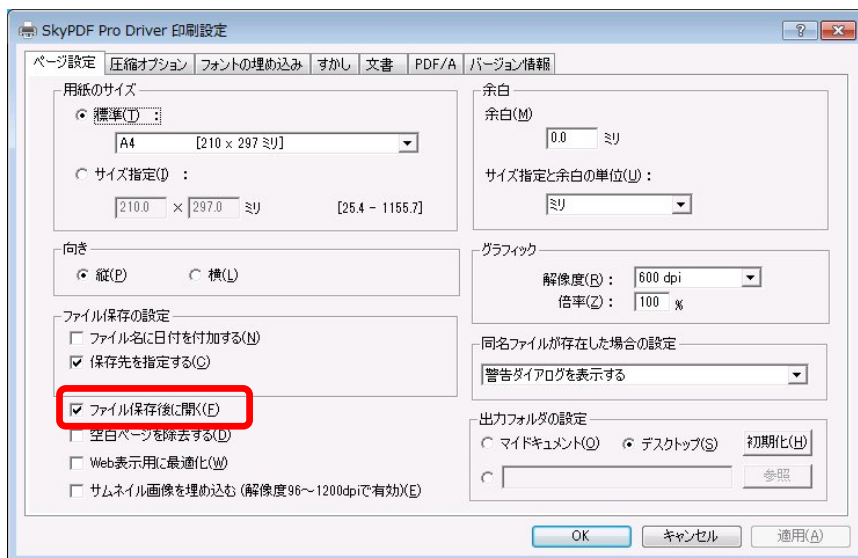
※ 初期設定として [上書き] または [既存ファイルの後に追加する] を選択した場合は、PDF ファイル作成時に十分に注意してください。重要なPDFファイルが上書きされたり、内容が変更されてしまう危険性があります。SkyPDF Pro Driver のプロパティの初期設定については、「SkyPDF Pro の初期設定を変更する」を参照してください。

※ PDF/A-1b 形式のPDFを同形式で生成する場合、[既存ファイルの後に追加する] は、msxml6 を入手し、インストールする必要があります。

PDF ファイル作成後に自動的にファイルを開く

PDF ファイルを作成した後、自動的にその PDF ファイルが開いて表示されるように設定できます。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 [ファイル保存後に開く] をチェックします。

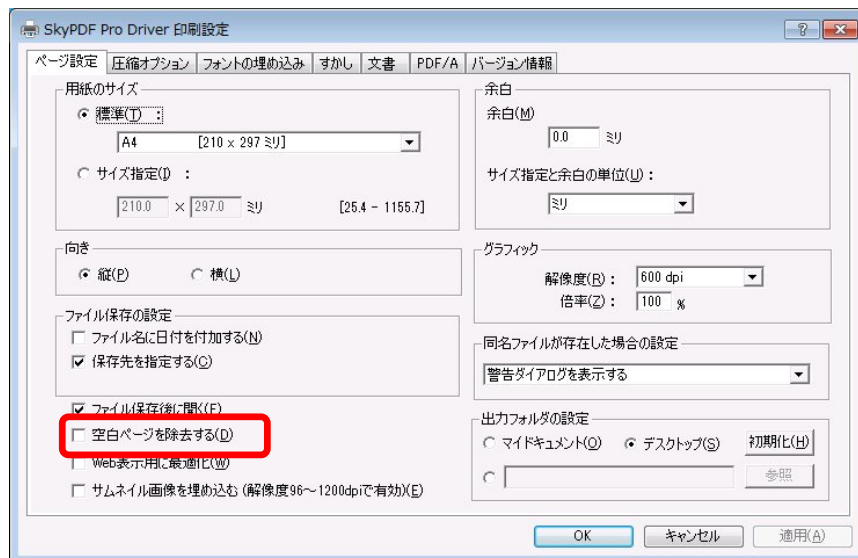


【メモ】 [ページ設定] タブで [保存先を指定する] をチェックしていた場合は、PDF ファイル作成後に [PDF ファイルに名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで [ファイル保存後に開く] をチェックすることもできます。

空白のページを自動的に削除する

元の文書内に空白のページが含まれていた場合、空白ページを自動的に削除して PDF ファイルを作成することができます。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 「空白ページを除去する」 をチェックします。



■注意■

※ Microsoft PowerPoint では、空白ページがあっても削除されません。

※ Microsoft Word では、Enter キーを押して作成した空白ページは削除されません。[挿入]メニューの[改ページ]を使用して作成された空白ページのみ削除されます。

Web 表示用に最適化する

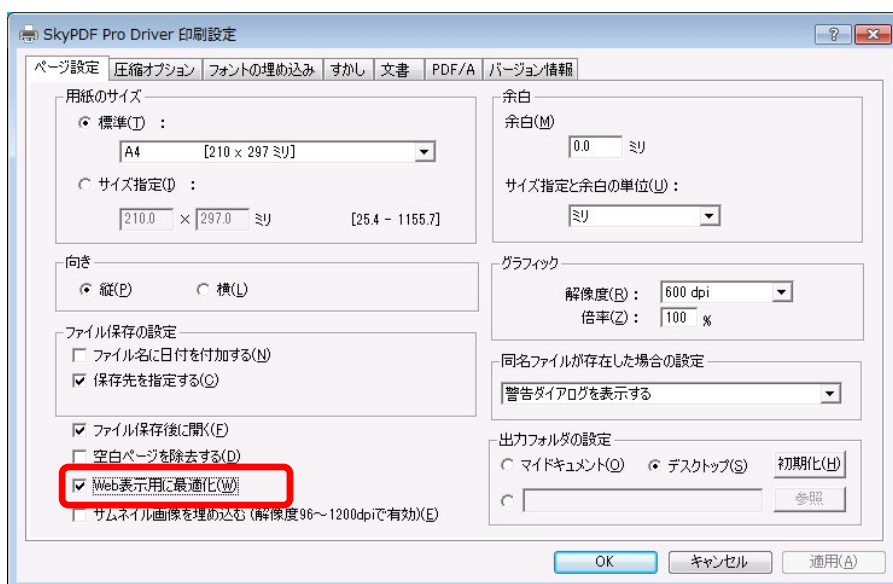
Webサイト上でPDFを表示させる際に、表示に最適な構成でPDFを生成したい場合にチェックします。ページ単位でダウンロードできるようになるため、表示時間の短縮に効果があります。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。
- 2 [Web 表示用に最適化] をチェックします。

■注意■

※ 生成後のPDF ファイルサイズが5KB 未満の場合、最適化されません。

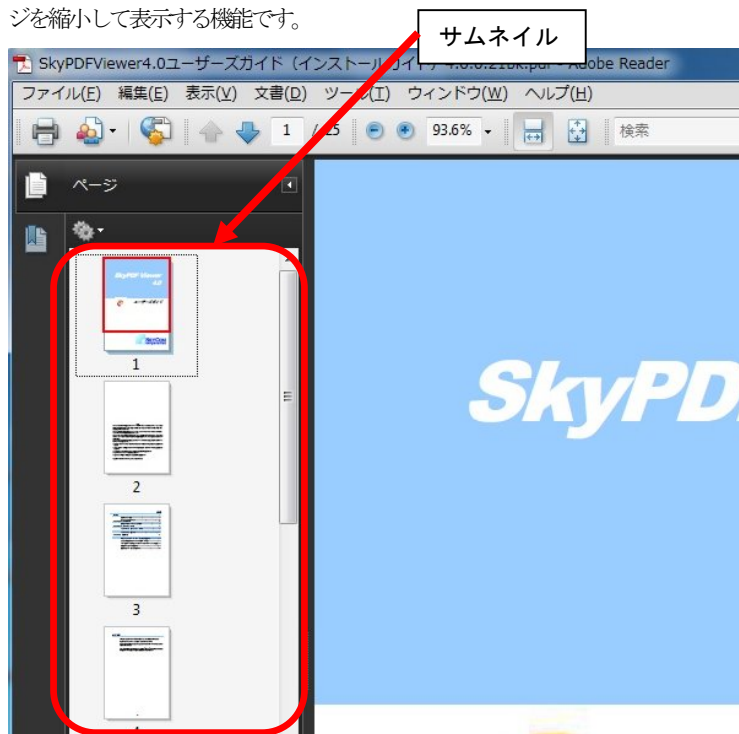
※ PDF/A-1b の設定と同時に最適化を行うことはできません。



サムネイル画像を埋め込む

「サムネイル」は、

Adobe ReaderなどのPDFビューアでPDFファイルを表示したとき、PDFファイルの各ページを縮小して表示する機能です。



【メモ】

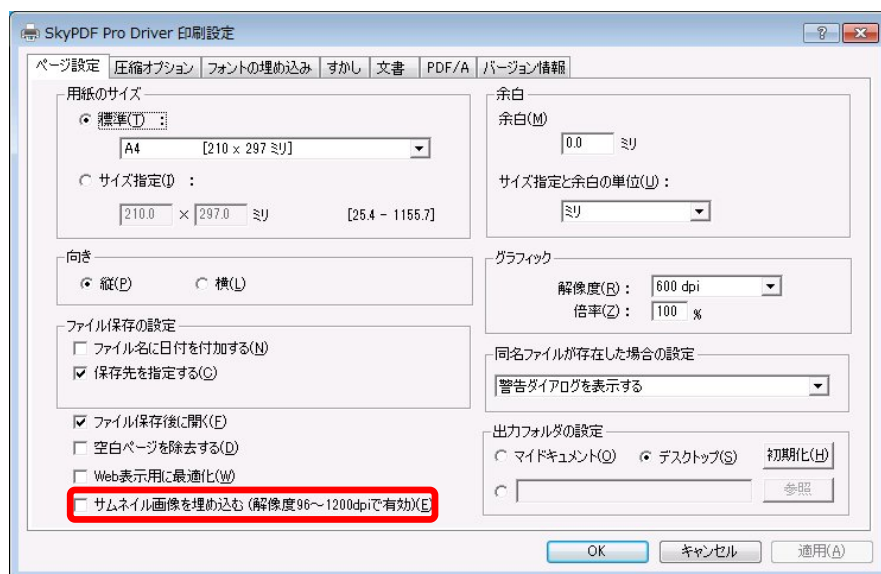
ここではAdobe Reader9.0の画面を例として使用しています。

サムネイル画像が埋め込まれていないPDFファイルを開いてサムネイルを表示しようとすると、ページ数が多い場合などは表示に時間がかかることがあります。

サムネイル画像をあらかじめ埋め込んでおくと、PDFビューアでサムネイルをすばやく表示することができます。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [ページ設定] タブを表示します。

2 [サムネイル画像を埋め込む] をチェックします。



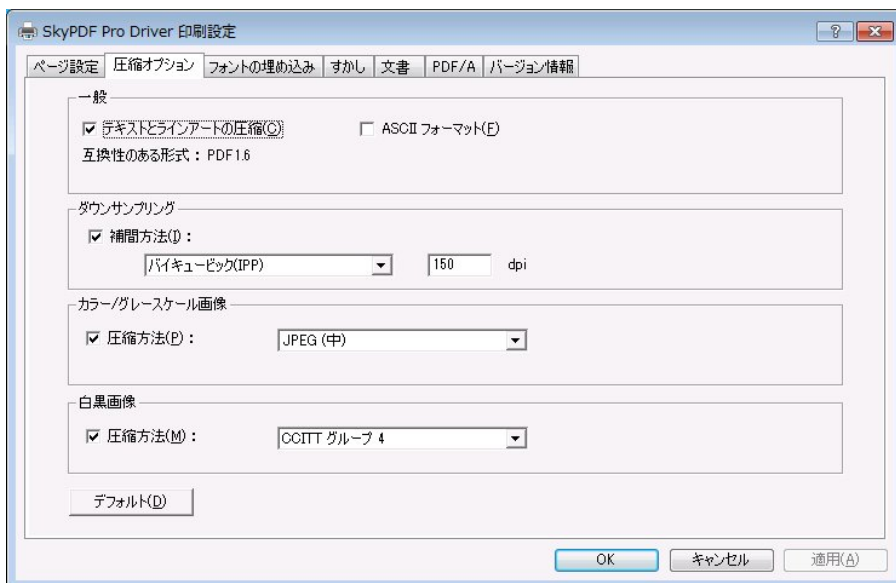
※グラフィック欄の解像度は96~1200dpiで有効となります。

テキストと画像の圧縮方法を設定する

PDF ファイル内でテキストと画像を圧縮する方法を指定します。

テキストや画像の圧縮方法は、作成する PDF ファイルのファイルサイズに大きく関連します。元の文書内に含まれている画像の種類などによって、適切な圧縮方法を選択してください。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [圧縮オプション] タブを表示します。



- 2 テキストとラインアート (線画) を圧縮する場合は、[テキストとラインアートの圧縮] をチェックします。

[テキストとラインアートの圧縮] をチェックすると、元の文書内のテキストと線画 (ドローデータ) が Zip 形式で圧縮されます。[テキストとラインアートの圧縮] を指定しても、テキストやグラフィックスの劣化は起こりません。

なお、この設定は、画像 (BMP や JPEG など) には影響しません。画像の圧縮については、[カラー/グレースケール画像] および [白黒画像] で設定してください。

【メモ】スキャンされた文字や図形、フォトソフトで作成された文字や図形などは画像として扱われます。また、PDF ビューアの種類やバージョンによっては、Zip 形式をサポートしていない場合があります。

3 ビットマップ画像のダウンサンプリングを行う場合は、[ダウンサンプリング] の [補間方法] をチェックし、右側のボックスで補間方法と解像度を指定します。

ダウンサンプリングとは、ビットマップ画像内のピクセル数を削減することです。[ダウンサンプリング] で補間方法と解像度を指定すると、指定した解像度よりも高い解像度の画像が元の文書にある場合に、指定した補間方法で指定した解像度までピクセル数が削減されます。

解像度には、1 インチあたりのピクセル数を入力します。補間方法には、次の 2 つがあります。

補間方法	説明
バイリニア法	隣接したピクセルの平均値を計算し、その領域全体を指定した解像度の平均ピクセルカラーに置き換えます。バイキュービック法よりも画像の品質は落ちますが、データ量は小さくできます。
バイキュービック法	バイリニア法よりも広い範囲で同様の処理を行います。バイリニア法よりも滑らかなグラデーションの画像が得られますが、データ量は大きくなります。
スーパーサンプリング、上記で (IPP) (IPP sharp) 付きの場合	インテル社のインテル IPP ライブラリを採用した方式です。

PDF ファイルを Web で使用する場合などは、画像のダウンサンプリングを行うと高い圧縮率を得ることができます。逆に、PDF ファイルを高解像度で印刷する必要がある場合などは、画像のダウンサンプリングは行わないことをお勧めします。

4 カラー画像とグレースケール画像を圧縮する場合は、[カラー／グレースケール画像] の [圧縮方法] をチェックし、右側のボックスで圧縮形式を選択します。

圧縮形式	説明
JPEG2000	下記 JPEG を発展させたもので、JPEG に比べノイズが発生しないなどの画質向上と、JPEG 以上の圧縮率の向上を実現しています。 [JPEG2000 (最低)] がもっとも圧縮率が高く、[JPEG2000 (最高)] がもっとも圧縮率が低くなります。圧縮率を高くすると、画像はそれだけ劣化しますが、ファイルサイズは小さくできます。
JPEG	写真などの連続階調の画像や、高解像度でファイルサイズの大きな画像に適しています。[JPEG (最低)] がもっとも圧縮率が高く、[JPEG (最高)] がもっとも圧縮率が低くなります。圧縮率を高くすると、画像はそれだけ劣化しますが、ファイルサイズは小さくできます。
Zip	イラストやスクリーンショットなど、均一濃度の部分が多い、階調が連続しない比較的小さな画像に適しています。Zip 形式の圧縮では、画像の劣化はありませんが、圧縮率が低いいため、ファイルサイズが大きくなります。

- 5** 白黒画像を圧縮する場合は、[白黒画像] の [圧縮方法] をチェックし、右側のボックスで圧縮形式を選択します。

白黒画像とは、白と黒のみで構成されている画像を指します。グレーは含まれません。たとえば白黒写真のようなグレーの階調が含まれている画像はグレースケール画像になります。

圧縮形式	説明
CCITT グループ	[CCITT グループ 3] と [CCITT グループ 4] は、ファックスの送信の際に使われる形式で、ペイントソフトの白黒画像などに適しています。圧縮によるデータの損失もなく、ほとんどの圧縮画像に対応しています。[CCITT グループ 4] は、[CCITT グループ 3] の 3 倍の圧縮効果があります。
Zip	白または黒の部分が細かく分かれている白黒画像に適しています。
Run Length	白または黒の部分が広い範囲でまとまっている白黒画像に適しています。
JBIG2	白黒画像を他の圧縮形式よりも高圧縮率で圧縮しますが、処理が遅くなります。

■注意■

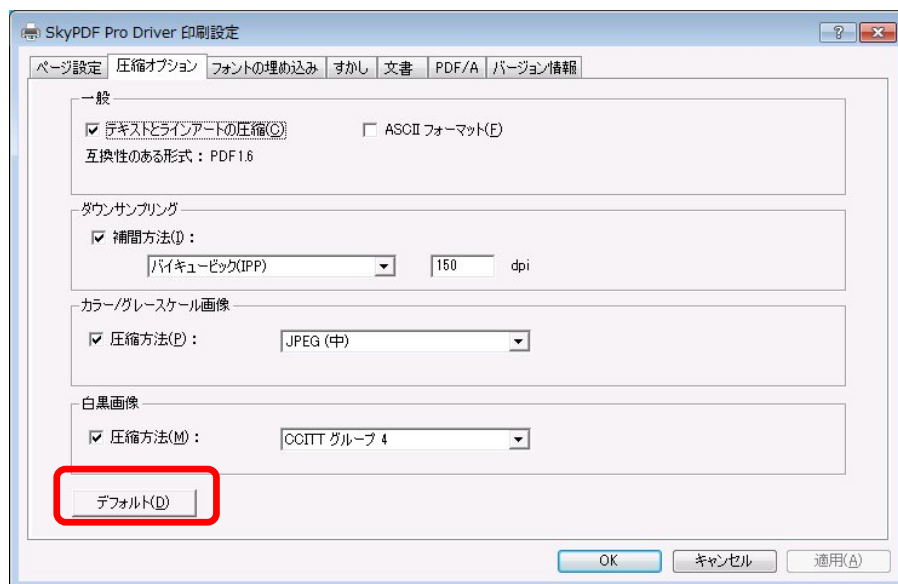
※ [圧縮オプション] タブの [互換性のある形式] では、現在 PDF1.6 と表示されていますが、本製品で作成される PDF は JPEG2000 を選択時のみ PDF1.5 で生成され、それ以外は PDF1.4 で生成されます。

圧縮の設定を初期設定に戻す

テキストや画像の圧縮方法の設定を、初期設定に戻します。初期設定では、次のような設定でテキストや画像が圧縮されます。

設定対象	初期設定
テキストとラインアート	Zip 形式で圧縮
カラー／グレースケール画像	JPEG（中）形式で圧縮
白黒画像	CCITT グループ 4 形式で圧縮
画像のダウンサンプリング	カラー／グレースケール画像、白黒画像をバイキュービック法で 150dpi までダウンサンプリング

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [圧縮オプション] タブを表示します。
- 2 [デフォルト] をクリックします。



【メモ】 [デフォルト] をクリックすると、[ASCII フォーマット] のチェックもはずされます。

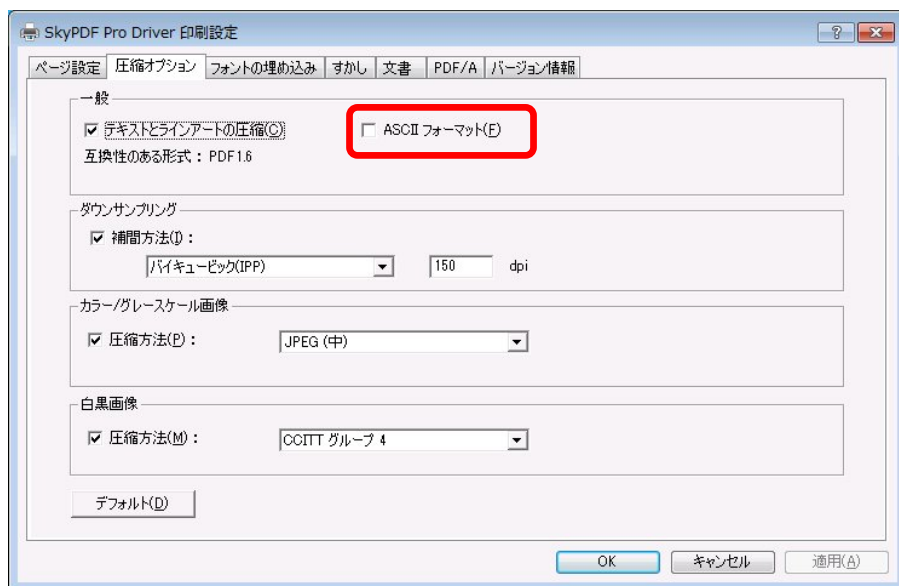
PDF ファイルをテキスト形式で出力する

PDF ファイルを 7 ビットの ASCII テキスト形式で出力することができます。ASCII テキスト形式で出力した PDF ファイルは、テキストエディタなどで表示して編集することができます。

文字のみしか送信できないネットワーク上で PDF ファイルを使用する場合や、PDF ファイルをテキスト形式で編集する可能性がある場合などに利用できます。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [圧縮オプション] タブを表示します。

2 [ASCII フォーマット] をチェックします。



[ASCII フォーマット] をチェックしなかった場合は、バイナリ形式で PDF ファイルが出力されます。通常は、バイナリ形式で問題ありません。

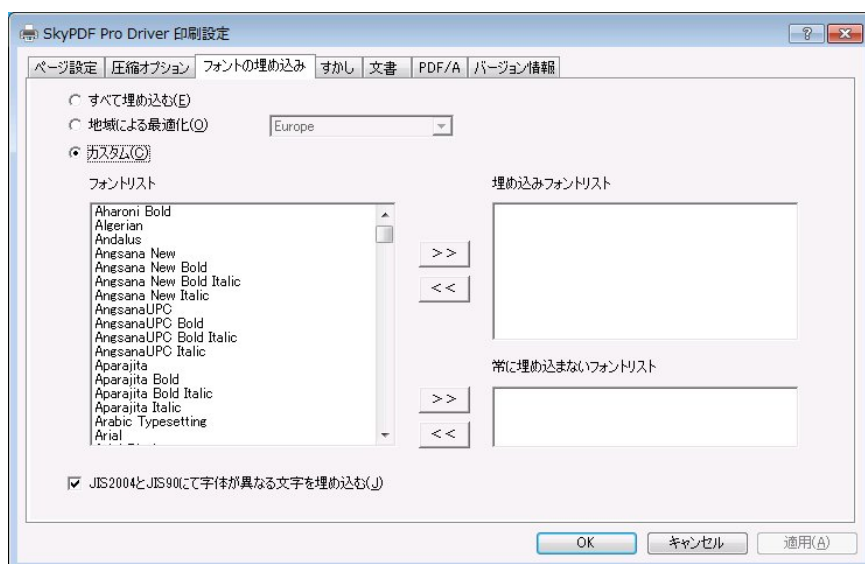
また、バイナリ形式よりも ASCII テキスト形式で出力した方がファイルサイズは大きくなります。

フォントを埋め込む

PDF ファイルに、元の文書内で使用されている TrueType フォント、OpenType フォント、Type 1 フォントを埋め込むことができます。フォントを埋め込んだ PDF ファイルは、PDF ファイルを表示する環境に文書内で使用されているフォントがなくても、元の文書のままのフォントとレイアウトで表示することができます。

【メモ】 PDF ファイルにフォントが埋め込まれていず、PDF ファイルで使用しているフォントが表示時に見つからなかった場合は、自動的に類似したフォントに置き換えられます。フォントが置き換えられた場合は、文字が重なったり離れたりして表示されることがあります（改行はそのまま維持されます）。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [フォントの埋め込み] タブを表示します。



2 元の文書で使用されているフォントをすべて PDF ファイルに埋め込む場合は、[すべて埋め込む] をチェックします。

[すべて埋め込む] をチェックすると、作成する PDF ファイルのファイルサイズが非常に大きくなる可能性があります。PDF ファイルを表示する環境にフォントがあることがわかっている場合（たとえば日本語 Windows では「MS ゴシック」や「MS 明朝」は必ずインストールされています）は、[すべてのフォントを埋め込む] を使用せず、元の文書内で使用されている特殊なフォントだけを埋め込むようにすると、ファイルサイズを小さくできます。

【メモ】 インストールされている TrueType フォント、OpenType フォント、Type 1 フォントは、Windows のユーティリティを使用して確認することができます。

- 3** 埋め込むフォント、あるいは埋め込まないフォントを選択する場合は、[すべて埋め込む] のチェックをはずし、[カスタム] をチェックします。[フォントリスト] で埋め込むフォント・常に埋め込まないフォントをそれぞれ選択して [> >] をクリックします。

選択したフォントが [埋め込みフォントリスト] [常に埋め込まないフォントリスト] それぞれに表示されます。[埋め込みフォントリスト] に表示されているフォントだけが PDF ファイルに埋め込まれます。

【メモ】 [フォントリスト] に表示されるのは、使用しているコンピュータにインストールされているフォントの一覧です。

- 4** [地域による最適化] をチェックすると、[Europe]、[Japan] が選択できます。

PDFファイルを表示する環境の地域を選択します。

[Europe] はヨーロッパ、[Japan] は日本のOSに最適なフォントの埋め込みをします。具体的にはPDFファイルを表示する環境に標準搭載されていないフォントの埋め込みをします。

地域を選択すると [埋め込みフォントリスト] [常に埋め込まないフォントリスト] それぞれに最適に振り分けられます。

■注意■

- ※ [カスタム] をチェックして、[> >] で設定しても、[すべて埋め込む] や [地域による最適化] をチェックしたり、また再び [カスタム] をチェックしたりすると設定がリセットされます。
- ※ 埋め込みが許可されていないフォントは、[すべてのフォントを埋め込む] をチェックしても埋め込まれません。また、[フォントリスト] の一覧にも表示されません。
- ※ 元の文書内で使用されていないフォントは、[埋め込みフォントリスト] に表示されていても実際には埋め込まれません。
- ※ [JIS2004 と JIS90 にて字体が異なる文字を埋め込む] が初期設定で選択されていますが、JIS2004 フォントが導入されている PC で使用する場合は、別の PC で表示できるようにするために、選択しておくことをおすすめします。

すかしを追加する

「すかし」とは、元の文書の内容の背後に、画像や半透明のテキストを挿入する機能です。すかしとして挿入したテキストや画像は、元の文書の内容の最背面に配置されるので、元の文書の内容を隠してしまうことはありません。

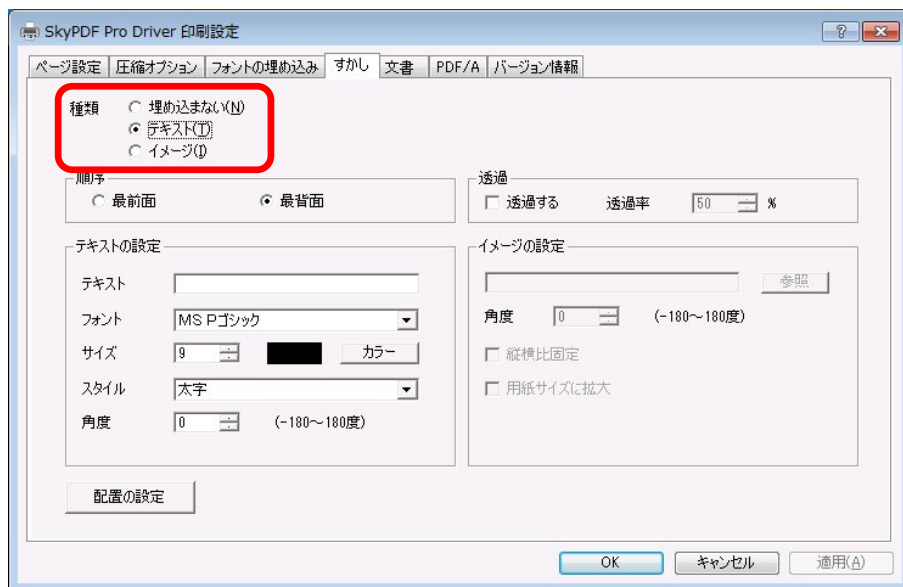
■注意■

※ すかしは全ページに挿入されます。たとえば、元の文書にはないヘッダーやフッター、ロゴなどをPDF ファイルに挿入する場合に利用できます。

※ すかしを挿入するときは、元の文書に設定されている文字列などの色に配慮してください。たとえば、文字が黒で作成されている文書に、黒などの濃い色のテキストをすかしとして挿入すると、元の文書の文字列が読めなくなってしまう場合があります。

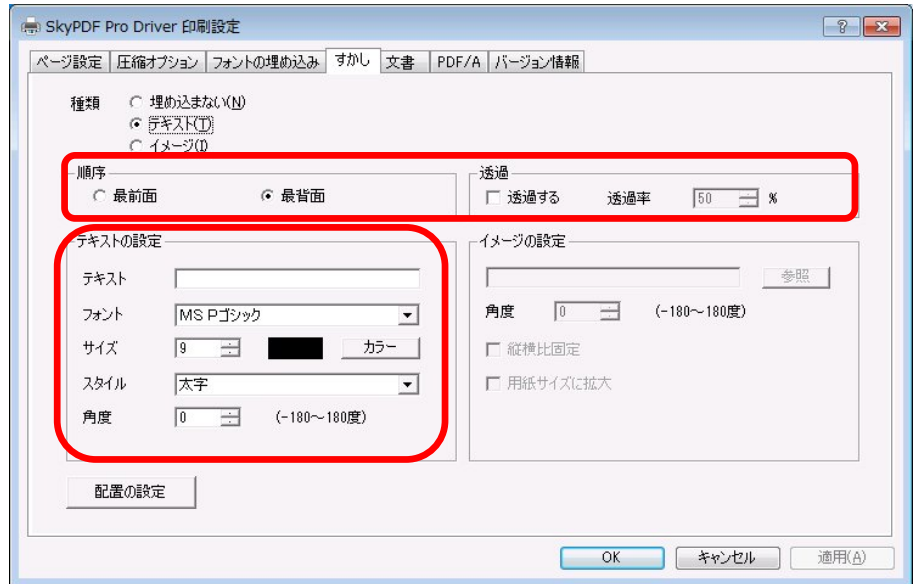
1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの「すかし」タブを表示します。

2 すかしとしてテキストを挿入する場合は「種類」で「テキスト」を、画像を挿入する場合は「イメージ」を選択します。



【メモ】 すかしを挿入しない場合は「埋め込まない」を選択します。

3 テキストを挿入する場合は、[テキストの設定] で挿入するテキストについての設定をします。



設定項目	説明
[テキスト]	すかしとして挿入する文字列を入力します。
[フォント]	文字列のフォントを選択します。
[サイズ]	文字列のサイズを指定します。
[カラー]	クリックすると表示される [色の設定] ダイアログボックスで文字列の色を選択します。独自の色を作成することもできます。
[スタイル]	[太字] や [斜体] など、文字列のスタイルを選択します。
[角度]	文字列を左右に回転させます。プラスの角度を指定すると左方向へ、マイナスの角度を指定すると右方向へ、文字列が回転します。

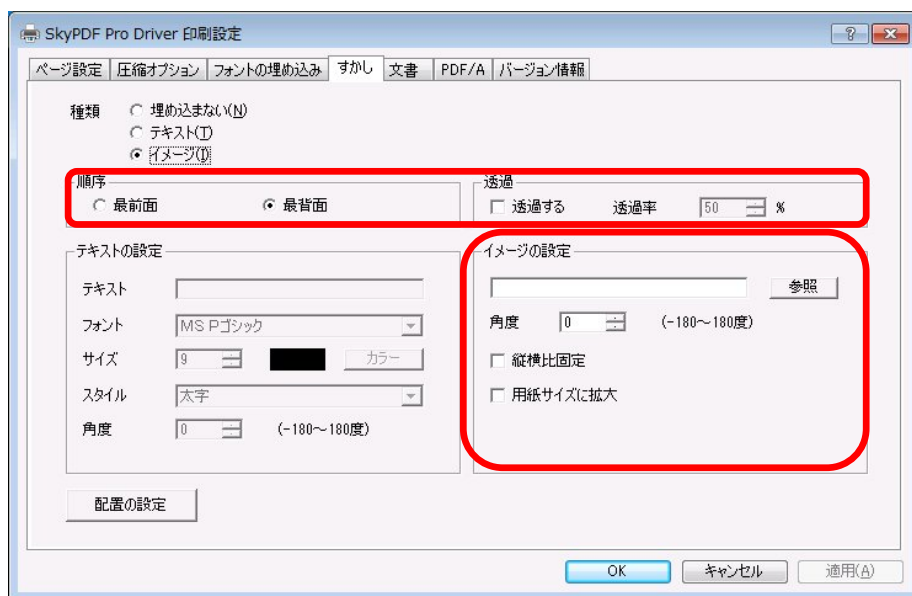
※中段の[順序]エリアにおける[最前面]を選択すると、すかしが画像などの最前面に表示されます。

[透過] エリアにおける[透過する]を選択すると、すかしの透過率を調整できます。

100%・・・透過されません。

0%・・・透明になります。

画像を挿入する場合は、[イメージの設定] で挿入する画像を設定します。



設定項目	説明
ファイル名	挿入する画像のファイル名とパスを、ボックスに直接入力するか、 [参照] をクリックしてファイルを選択します。
[角度]	画像を左右に回転させます。プラスの角度を指定すると左方向へ、 マイナスの角度を指定すると右方向へ、画像が回転します。
[縦横比固定]	画像の縦横の比率を変えずに画像のサイズを変更する場合に チェックします。サイズを変更しても、画像の縦横をゆがませず に挿入することができます。
[用紙サイズに拡大]	画像を用紙全体に拡大します。[用紙サイズに拡大] をチェックす ると、画像の位置やサイズの指定はできなくなります。

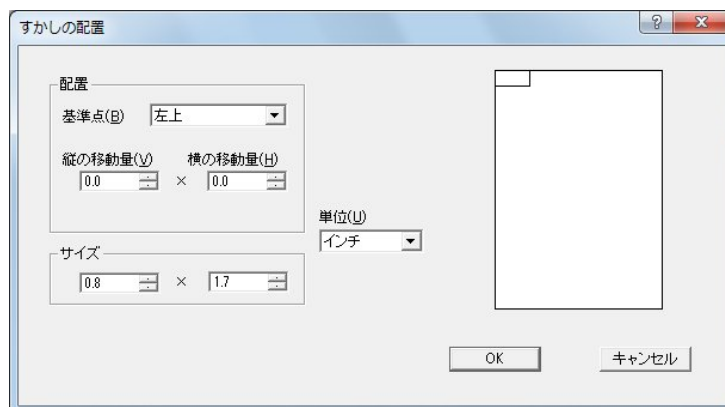
※中段の[順序]エリアにおける[最前面]を選択すると、すかしが画像などの最前面に表示されま
す。

[透過] エリアにおける[透過する]を選択すると、すかしの透過率を調整できます。

100%・・・透過されません。

0%・・・透明になります。

「配置の設定」をクリックし、挿入したテキストや画像の位置やサイズを設定します。



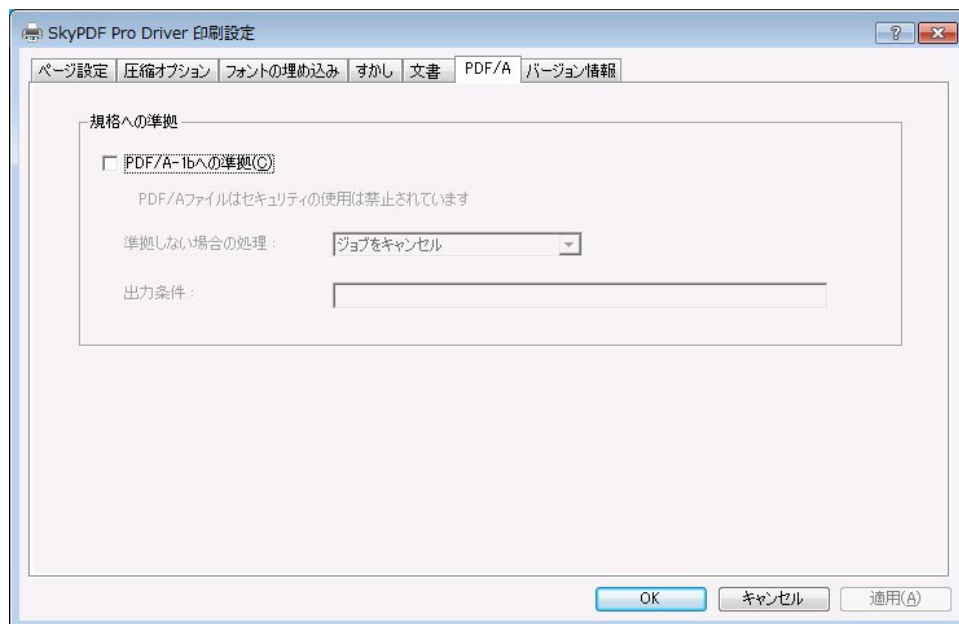
設定項目	説明
「基準点」	テキストや画像の位置の基準となる位置を選択します。[上] は用紙の上端中央、[左] は左端中央、[右] は右端中央、[下] は下端中央になります。
「縦の移動量」	「基準点」で選択した位置から、上下に移動したい数値を指定します。プラスの数値を指定すると下に、マイナスの数値を指定すると上に、テキストや画像が移動します。
「横の移動量」	「基準点」で選択した位置から、左右に移動したい数値を指定します。プラスの数値を指定すると右に、マイナスの数値を指定すると左に、テキストや画像が移動します。
「単位」	縦横の移動量やサイズの指定で使用する単位（インチ／ポイント／ミリ）を選択します。
「サイズ」	画像のサイズを縦×横で入力します。[すかし] タブで「縦横比固定」をチェックしている場合は、どちらかのボックスの数値を変更すると、もう一方の数値も自動的に変わります。
プレビュー	すかしの位置やサイズを変更すると、プレビューに表示される四角形の位置やサイズが自動的に変わります。

■注意■

- ※ この画面ではテキストのサイズは指定できません。テキストのサイズの指定は、手順 3 の「テキストの設定」で行ってください。
- ※ 「縦の移動量」と「横の移動量」に入力した数値は、「基準点」を変更しても元には戻りません。変更した後の「基準点」の位置から、以前に設定したままの移動量が保持されて配置が設定されます。

PDF/A-1b 形式で生成する

PDF/A-1b (レベル B) は、ISO 19005-1 の一部準拠で、PDF 1.4 仕様に基づく、電子文書の長期保存用の形式です。e-文書法長期保存フォーマットに適しています。ここでは、PDF/A-1b 形式に準拠した PDF の生成方法を説明します。長期保存に適さない機能は準拠していない機能として認定されているため、PDF 生成時排除されます。



■PDF/A-1b 形式に準拠した PDF の生成

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [PDF/A] タブを表示します。
- 2 [PDF/A-1b に準拠] をチェックします。

■注意■

※ ダウンサンプリングの JPEG2000 設定時、すかしの透過率 100% 以外の設定時、Web 最適化設定時、および“同名ファイルが存在した場合の処理”の“既存ファイルの後に追加する”の各機能が準拠していないため、[PDF/A-1b に準拠] をチェックするとエラーメッセージが表示され、利用できません。

※ [PDF/A-1b に準拠] をチェックし、PDF 生成を行うと、フォントやメタデータの埋め込みが実施された PDF が生成されます。

※ PDF/A-1b 形式で生成する場合、ページ設定タブの[既存ファイルの後に追加する]を利用して追加結合する場合は、msxml6 を入手し、インストールする必要があります。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=993c0bcf-3bcf-4009-be21-27e85e1857b1&displayLang=ja>

<http://www.microsoft.com/downloads/en/details.aspx?FamilyID=993c0bcf-3bcf-4009-be21-27e85e1857b1>

中国語簡体字

<http://www.microsoft.com/downloads/zh-cn/details.aspx?FamilyID=993c0bcf-3bcf-4009-be21-27e85e1857b1>

中国語繁体字

<http://www.microsoft.com/downloads/zh-tw/details.aspx?FamilyID=993c0bcf-3bcf-4009-be21-27e85e1857b1>

■PDF/A-1b 形式に準拠していない場合の措置

以下条件は、本製品の設定画面で制御できないため、生成時に自動検知した場合の措置をメニューより選択します。

[条件] ①埋め込み禁止フォントが使われた場合

②ICC プロファイルのレジストリが存在しない場合

③インストール先に ICC プロファイルがない場合

※ICC プロファイルとは、国際標準化機構 (ISO) の公表した標準に
従ったカラーマネージメントの仕様を記述したもの

1 [準拠していない場合:] メニューから下記のいずれかを選択します。

- ・ジョブのキャンセル・・・PDF 変換を中止し、エラーメッセージを表示します。
- ・続行・・・PDF/A-1b 形式に準拠しない標準の PDF を作成します。

■出力条件

印刷の条件を示すために使用します。この項目は必須ではありませんが、入力すると PDF の受信者に有用な情報を提供することができます。

[出力条件:] 欄に任意の文字列を入力することができます。

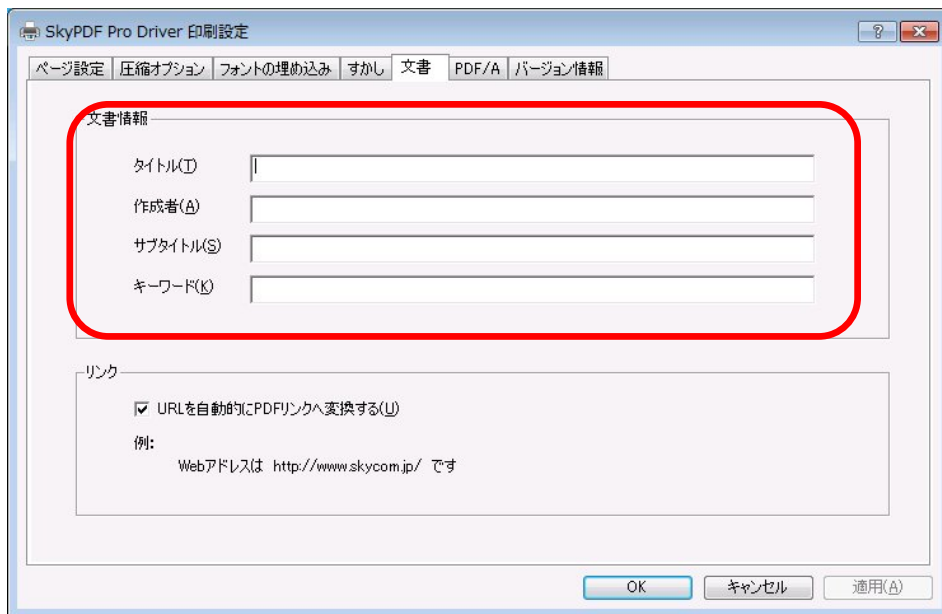
デフォルト値: 空白

入力可能文字数: 255

文書情報を PDF に付与する

PDF ビューアにて、PDF ファイルの文書のプロパティを表示させた場合の文書情報を、固定で PDF ファイルに付与できます。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの「文書」タブを表示します。
- 2 「タイトル」【作成者】「サブタイトル」【キーワード】欄に、それぞれ任意の文字を入力します。



■注意■

※ Word 文書などの元アプリケーションの文書情報は、認識されません。

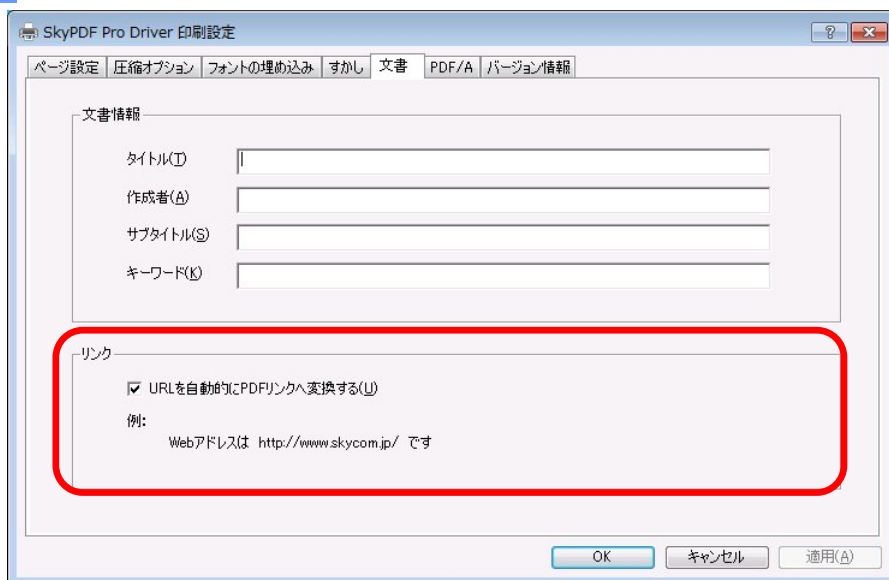
URL やメールアドレスをハイパーリンクに変換する

元の文書に含まれている URL やメールアドレスを自動的にハイパーリンクに変換することができます。

PDF ファイルを表示するユーザは、PDF ファイルにある URL やメールアドレスのハイパーリンクから、直接 Web サイトに接続したりメールを作成できます。

1 SkyPDF Pro Driver のプロパティの [リンク] タブを表示します。

2 [URL を自動的に PDF リンクへ変換する] をチェックします。



■注意■

※ URL として認識されるのは、「http://」、「https://」、「ftp://」で始まる文字列です。メールアドレスとして認識されるのは、「mailto:」で始まる文字列と「XXX@XXX.XXX」の形式で記載されている文字列です（文字列は英数字と記号のみ）。

※複数行の URL リンクについて

複数行の URL リンクを付与する場合は、Office アドインツールボタンの”しおり付き PDF 作成” ボタンにて PDF 生成してください。当ボタン操作以外の生成では複数行の URL リンクに対応しておりません。”しおり付き PDF 作成” ボタンにての生成でもページをまたがる形の複数行 URL リンクには対応しておりません。

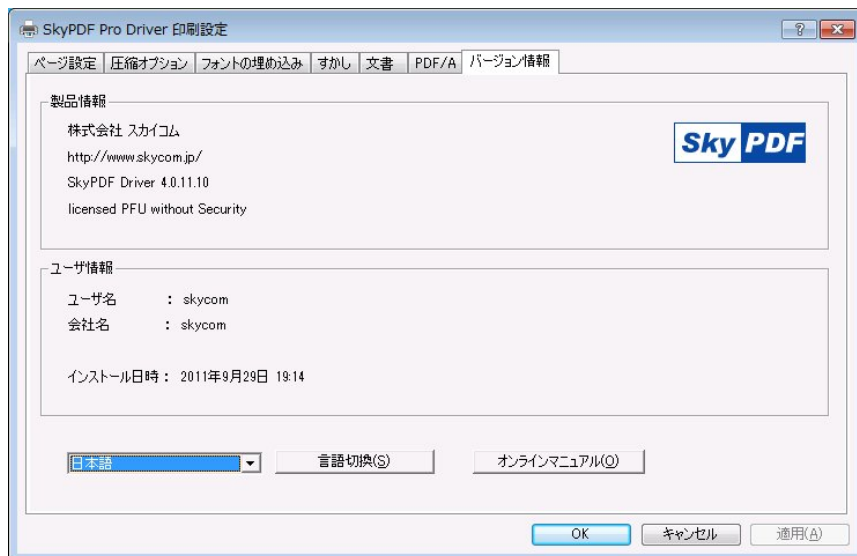
※ [参考] Adobe Acrobat 7.0 または Adobe Reader 7.0 以降では、PDF ファイル内の URL やメールアドレスは自動的にリンクとして設定されます。

SkyPDF Pro の製品情報やユーザ情報を確認する

SkyPDF Pro のバージョンやライセンス、登録ユーザのユーザ名などを表示して確認できます。

- 1 SkyPDF Pro Driver のプロパティを表示し、[バージョン情報] タブをクリックします。

SkyPDF Pro の製品情報とユーザ情報が表示されます。



[言語切替] をクリックすると、印刷設定画面やプロパティ画面に表示される言語を切り替えることができます。反映させるには、印刷設定画面やプロパティ画面を再起動する必要があります。

SkyPDF Driver ユーザーズガイド

2012 年 3 月 5 日発行

発行 株式会社スカイコム

Printed in Japan

